

東京小間物報



緊急稟告

當小間物商報儀日々に繁盛に進み今
 年號數七十を超へ印刷紙數も亦萬を以
 て數ふるに至りしは是れ全く御愛顧諸君
 の賜ものなりと深く感謝する所に御坐
 候然る處當小間物商報は豫て各位も御
 了知の如く全國御同業者諸君と氣脈を
 通じ互に利し互に益せんが爲めの機關
 にして毫も私利私慾を逞ふせんとの計
 畫非ざる事ハ今更喋々を要せざる儀
 に有之乍去當初の心算を以て今日に比
 する時ハ原紙を初め其他一般の價格に
 騰貴を加へたるのみならず此發行の當
 分一して止むものなれば兎も角も之を
 して後來幾千萬號まで繼續せしめ諸君
 と共に益々進んで益々幸福を獲取せん
 とには素より限りあるの資財を以て限
 りなきの需めに給すること理に於て許
 さざる所に有之是に於てか當小間物商
 報は今般全國配布先の名簿を整理等從
 來業務擴張の爲め無代價發送致來り候
 内未だ郵税をも御送付無之讀者に限り
 當發行所の適宜を以て殘紙あり一時の
 む進送の事に改正致候間何卒引續き御
 愛顧被下候御方は至急左記の代價御送
 付有之度此段爲念稟告候也

東京小間物商報定價

一部 金壹錢五厘

一ヶ年金五十錢(郵税共)
 (但し郵券代用不苦尤も五厘券に限る)
 爲替振込は日本橋區兩國郵便支局宛
 明治三十年十月五日

東京小間物商報

發行所

本組合録事

(明治三十年九月三十日現在)

職名	明治廿四年	明治廿五年	明治廿六年	明治廿七年	明治廿八年	明治廿九年	明治三十年	五二會	姓
發起人總代	頭取	頭取	理事員	理事員	理事員	理事員	頭取	評議員	天野源七君
發起人總代	副頭取	副頭取	理事員	理事員	理事員	理事員	副頭取	評議員	三輪善兵衛君
發起人總代	理事員	理事員	理事員	理事員	理事員	理事員	評議員	部長	淺井碩成君
發起人總代	會計主任	會計主任	會計主任	會計主任	會計主任	會計主任	會計主任	理事	平尾贊平君
發起人總代	理事員	理事員	理事員	理事員	理事員	理事員	理事員	評議員	前川忠兵衛君
發起人總代	理事員	理事員	理事員	理事員	理事員	理事員	理事員	評議員	江川金右衛門君
發起人總代	理事員	理事員	理事員	理事員	理事員	理事員	理事員	評議員	佐野小兵衛君
發起人總代	理事員	理事員	理事員	理事員	理事員	理事員	理事員	理事	熊田善藏君
發起人總代	會計主任	會計主任	會計主任	會計主任	會計主任	會計主任	會計主任	評議員	長瀬富郎君
發起人總代	理事員	理事員	理事員	理事員	理事員	理事員	理事員	評議員	大塚萬之助君
發起人總代	理事員	理事員	理事員	理事員	理事員	理事員	理事員	評議員	守田重兵衛君
發起人總代	理事員	理事員	理事員	理事員	理事員	理事員	理事員	評議員	林九兵衛君
發起人總代	理事員	理事員	理事員	理事員	理事員	理事員	理事員	評議員	松澤八右衛門君
發起人總代	理事員	理事員	理事員	理事員	理事員	理事員	理事員	評議員	佐々木玄兵衛君
發起人總代	理事員	理事員	理事員	理事員	理事員	理事員	理事員	評議員	山本逸造君
發起人總代	理事員	理事員	理事員	理事員	理事員	理事員	理事員	評議員	齊藤吉次郎君
發起人總代	理事員	理事員	理事員	理事員	理事員	理事員	理事員	評議員	中村喜三郎君
發起人總代	理事員	理事員	理事員	理事員	理事員	理事員	理事員	評議員	大野金九郎君
發起人總代	理事員	理事員	理事員	理事員	理事員	理事員	理事員	評議員	佐野善衛君
發起人總代	理事員	理事員	理事員	理事員	理事員	理事員	理事員	評議員	三橋兎喜次郎君
發起人總代	理事員	理事員	理事員	理事員	理事員	理事員	理事員	評議員	森田五三郎君
發起人總代	理事員	理事員	理事員	理事員	理事員	理事員	理事員	評議員	山田篤三君
發起人總代	理事員	理事員	理事員	理事員	理事員	理事員	理事員	評議員	沙見儀兵衛君
發起人總代	理事員	理事員	理事員	理事員	理事員	理事員	理事員	評議員	武井龍三君
發起人總代	理事員	理事員	理事員	理事員	理事員	理事員	理事員	評議員	鈴鹿保家君
發起人總代	理事員	理事員	理事員	理事員	理事員	理事員	理事員	評議員	稻生二平君
發起人總代	理事員	理事員	理事員	理事員	理事員	理事員	理事員	評議員	柳下藤山君
發起人總代	理事員	理事員	理事員	理事員	理事員	理事員	理事員	評議員	小田善兵衛君
發起人總代	理事員	理事員	理事員	理事員	理事員	理事員	理事員	評議員	河田定治郎君
發起人總代	理事員	理事員	理事員	理事員	理事員	理事員	理事員	評議員	西澤喜右衛門君

（註）四以上六回超給金條則七回以上相續一發行所 東京小間物商報組合事務所

雜報

日光紀行(承前)

骨皮道人

是より數町にして行路二に岐る即ち一は舊來の本道にして一は近年開きたる新道なり本道を往けば...

汗ぬぐひく見あげる時哉
毛も汗にしばりては越す時かな

なご苦を狂て香氣にまぎらかし漸くにして一の茶屋と云へるに若す此處に二ツの瀧あり一を法...

瀧風に向ふて拭くや汗の肌
暫時休憩の折から駕籠の人馬の人追々に登り来り...

位の遠距離なれば彼の川柳所に所謂「下女の鼻は...

直下千尋唯驚 自慙不似武城名 此瀧初
見感心哉 文竟上人勇氣釋

夫より又駕籠に乗り行くこと數町にして中宮祠の...

あらざれば中宮祠への参詣は許さざりしと然るを...

みならず今は婦人の船頭さへありて湖中の魚を漁...

蛇七分のひかし話しに舌を巻く
我一行も亦湖水の魚を調理せしめて杯を舉げ且食...

●郵便條例改正
現行の郵便條例は明治十六七年頃制定したるものにて交通進歩せし今日には適...

●京都商業會議所の決議
同會議所にては疊に新條約實施準備の爲り十五名の委員を選定して調...

●煉炭磨機イマモンド
彼の有名なるイマモンド商賣の本舖平尾商店にては今年度煉炭磨機イ...

●都内か
多年一日の如く世の高評を博しつつある同品は目下馬喰町の太野金城堂にて發賣を爲...

●九善商店の新形案内
目下同店の新形に係る最も賣行よきものを聞くに、角かん小物の新形に...

●御斷
市内配達人の内一名病氣に付前回より代理の者差出候得共得意先不案内の爲め延着又は不行届等の儀も可有之と...

五二會録事

委員及各部長會 豫期の如く去月廿四日五二會全品評會開議に關する委員及び各部長等(會部より三輪部長出席)午前十時より日本橋區上...

日本貿易協會より依頼の件 左の通會員諸氏(通知) 拜啓本日日本貿易協會より五二會東京本部を...

會員各位御中

(別紙) 拜啓今般其筋に於て外國貿易擴張の目的を以て新嘉坡、沙市、墨斯古、テデッサ、孟買、在帝國領事館内へ本邦製産品見本陳列所設立相成候に付...

●米國通信 在米新井領一郎氏より星野長太郎氏への書信摘要として全國實業各團體中央本部より左の通報あり 清國有名の養蚕地方御巡遊の御報告によればは

日は不知目下の状況にては糸商供給不足の爲め非常にも多額の機械糸を輸出し能はざる者如きも只恐るゝは進々内國用の織を機械織へ者の如き習慣相付候上は日本の製糸場と異り本仕掛に巨...

力熱心の製糸家を洋行するの利益其他生糸改良の要點等御申し渡し置候云云 ●前田正名氏歸朝の途に上る 目下歐洲巡視中なる前田正名氏は昨廿六日佛國馬耳其務歸朝の途因に曰く本邦への着は多分十一月四日頃なるべし

九月廿七日 實業各團體中央本部

第四回内國勸業博覽會褒賞 會全國品評會一等 念博覽會有功銅牌 廿五年紀

有功銅牌 名譽勳章 右薦告由 會長 三井八郎 啓

廉低價長純質品 名譽勳章 啓

元祖 小町水 此元祖小町水は四季必要なる化粧品にして其功の著大なるは十有餘年以前より普く世人の賞賛する品なり

元祖小町水 此元祖小町水は四季必要なる化粧品にして其功の著大なるは十有餘年以前より普く世人の賞賛する品なり

効報

近來我國齒磨及石鹼ノ種類頗
 フル多シト雖其弊所特製ノ藥齒
 磨及ヒベロイ石鹼ノ如キ品質ノ
 純良製法ノ完全ナルモノ未ダ曾
 テ他ニ比類アルヲ見ス而シテ弊
 所ハ近時流行ノ理化的効能或ハ
 醫士大家ノ證明等ヲ例記レ世人
 ノ注意ヲ促カス如キ必要ヲ感セ
 ス本品ノ價值如何ハ大方諸君ノ
 隨着高評ニ任セントス幸ニ一品
 ナ試用ヲ賜ハハ弊所ノ幸榮ニ
 過サルナリ

- 一感冒ヲ預防スルニ効アル事
 - 一外氣ニ胃サレテ濕氣ヲ預防スルニ効アル事
 - 一小兒ニ用ヒテ特效アル事
 - 一齒肉ヲ預防スルノ効アル事
 - 一皮膚一切ニ奇効アル事
- 右之條々堅ク實効アル事ヲ證ス
 ルモノ也

製造元

心石鹼

藥齒磨

米國齒科博士中村正脩先生新法

右ハ石鹼定價
 壹打金貳圓卅錢 貳打金壹圓六拾五錢 三四五六七
 號壹圓金貳拾錢 號壹圓金拾錢 四號號號號號號
 左ハ齒磨定價
 壹打金貳圓 貳打金壹圓七錢 煉 兩器入金拾五錢
 箱子入金三拾錢

東京市小石川區江戸川町拾八番地
 製造發賣元 中村齒科用品製造所

萩の花妻 (第三回)

住僧ははより落る涙を押拭ひ... 萩の花妻 (第三回) 一子 稿

の門闕の東に威權をよるひ平家九代の... 萩の花妻 (第三回) 一子 稿



の門闕の東に威權をよるひ平家九代の... 萩の花妻 (第三回) 一子 稿

Advertisement for '自由指環' (Free Ring) and '根掛' (Root Hanger) with illustrations of the products and contact information for '天野利助'.

又古まゝへ

近世奇蹟考 (抄録)

●地蔵坊大酒蔵
慶安の頃、江戸大塚に地蔵坊大酒蔵と云ふ人あり(實名茨木春朝、某侯の侍醫なり)古今希有の大酒にて、酒友門人甚だおほく、其頃名高き人なり、又狂歌をよみぬ(或は云ふ鶴舞が舞に居住のよし)小石川柳町詳雲寺に大酒の石碑あり、正面に不動の像をささみ、右に酒徳院時壽僧住士とあり、左に辭世二首あり

みな人の道こそかはれ死出の山
打越見ればおなじよもど路
南無三ばうあまたの梅を香はして
身はあき梅にかへるよるさ

●酒蔵
慶安の頃、大いにかこなる、梅次、底深、両大將となり、敵味方どわかれ、あまた酒兵をまつり、大杯をもつて、酒量をかかひしめて勝負をわかつたなり、これに、犬居、目録、

●酒蔵
慶安の頃、大いにかこなる、梅次、底深、両大將となり、敵味方どわかれ、あまた酒兵をまつり、大杯をもつて、酒量をかかひしめて勝負をわかつたなり、これに、犬居、目録、

古佛の座、などいふ法合あるよし水鳥記に見ゆ
●蜂籠の玉
これ酒蔵に用ゐたる、七合入の大盃なり、蜂と籠と雲の形あり、させのさよ、香をへさむといふ、ころろとぞ、底深子孫大御川原の某氏、今に傳す

●鹿嶋次郎
貞享中の印本「舞曲扇林」(二冊河原崎權之助作)と云ふ草紙に、六方とは佐渡島歌舞伎の時、名譽屋山左が下人に、鹿嶋次郎とて兩人あり、山左常に、六條傾城町に行かよふ時、供しけるが、鹿嶋は生れつゝ奴にて、坐敷に出ても、あはけなき事といひて興あり、次郎は自然とあかしき男なりて、ものひたるさあ笑ひをもよふせり、佐渡島歌舞伎の時(扇文集を考ふるに慶長十九年山左彼の兩人を役者として、佐渡島にかしたるなり奴を鹿嶋つとりけるより、鹿方といふ、六方も六法も誤りにや、次郎は今の道藏なり、これは狂言のせりんに、私しは今日の猿馬鹿でござるといひて、笑はせけり、後に猿若といひかへけるなり彼の鹿方は多門左衛門(延寶の頃)より、奴の風俗よくなりて梅を着し供奴つれていたしけるより鹿方あらたまりけり、これより前は、紺のぢいにして鹿をかけ、すわしにいたしけるなり(接るに坊主小兵衛等、もつぱらこれをしたり、今奴丹前と云ふもの、この遺風か)猿次郎より後に猿若とあらたりしは、猿若三作、江戸にては中村大勘三郎彦作なり云々、以上鹿方猿馬鹿の説、信じがたしと雖も、鹿嶋次郎の事、ゆづらしき説なれば、ここにきつつけまかつ (大尾)

近代世談 (抄録) 菊岡沾涼

●琴
舊軍記に、天箭琴、大日貴命持給ひしとあり、和琴は河海抄に出たり、又弓六張をならべて引鳴したるより起ると無名抄にいふ、是は天細女命、天香弓たて並べ、絃を鳴し玉人故事なり、今玩

爲念御注意謹告

各地御得意様方時候の御障も不被爲在愈々御清勝御繁榮の段欣喜不斜奉存候陳者弊舎製造各種石鹼の儀多年の経験と幾多の辛酸を積候結果大に需用者の嗜好に適じ日進月歩の勢を以て遂に今日の隆盛を極め候は元是品質の精良にして價格の低廉なるに基く儀とは申ながら又各地御得意様方の御高此に因らざれば斯る幸榮は難得儀と深く感謝仕候然る處右石鹼の儀に付各地御販賣諸君の中直接弊舎へ宛られ御注文下され或は直段御問合の向も有之猶御出京の際隨々御來車被下候等の御方も御坐候得共弊舎は從來製造のみに従事し販路擴張の儀に當市内和洋小間物各問屋へ委託致置候に付遠路折角御來車被下候ても素より製造場のみ事故直接の御取引は一切不仕候間何卒御注文の節は右市内和洋小間物各問屋に就き御取引被成下度此段爲念謹告候也

委託販賣所 東京市内和洋小間物卸問屋各店

東京本所 芳誠舎石鹼製造所敬白



そよ十三粒の事なり、宇多帝の時、筑紫彦山にて色子と云ふ命婦、此曲を唐人につたへられし事あり、これゆゑ筑紫彦山といふ、或説十三粒の、二十五粒をわけて半粒したるなり、十二の調子をわけて、初の一程、名のみかばりて御事なり、四て半程といふ、寛文のころ、筑後國善道寺の僧法水といふもの、筆を學んで妙術を得たり、後に東武にくたり、上永檢校につたふ（上永後に八橋と改む）八橋檢校これを得て、始めて三線にうつし合す、今以て筑紫彦と稱す、此八橋、貞享のころ、京にて卒す、時に七十餘、黒谷に墓あり

三線

永祿年中、琉球より渡る、その時は蛇皮を以て張る、或人泉州堺の盲人中小路と云ふものにとりせたり、其後虎澤といふ盲人、本手破手といふ術をひき始め、慶長の頃、深角といふ盲人、琵琶の名人なりしが、三線を手練し、小歌にのする、そのころ淨瑠璃出来たり、これに應じて張るは、深角がはじりなり、其後に大坂加賀郡城秀の兩人術を得たり、江都にくたりて加賀郡八橋流柳川となり、城秀八橋檢校となり、當時八橋流柳川流と稱する、此兩檢校が術なり、是を三線と號く、三の線ゆるもなり、三の字さみと云ふは、閉口の音にてはね假名をさみといふなり、目論はゆるみ、燈心はゆるし、御帯はゆるみ帯などの類なり、しかるをいつの頃、何者の書をしにや、味の字を加へて、世間一統に三味線と書く、又はねがなの、んを近水に用ひ、元來んは、に文字たり、片假名のんは、ニ文字の跡をばねて、んとし、此んを又んと、かなに書たるものなり、當時此かなづかひの、粗のこれは、紫死、苦難、蘭、錢などなり、難波はむかしの假名がさをよびて、今以てなにはと云ふなり、此類多し

風呂敷

元は風呂の場所に敷て、ゆかたにひだしきものなり

り、今物を包む風呂敷は、此名をかきたるものなり

桐油

桐に油桐といふあり、はじめは此實の油にて製したるなり、今は往の油を用ひといへども、桐油の名あり、本草に云、桐桐に類して小さく、長ずること遅し、其子を収りて油とす、荏の油に似たり、又云、此油を以て物を塗るに、五色を製せ、白色は常の漆のあたはざるなり、此油はなほだよろしきなり、因て桐油漆と云ふ、又松脂を加へて、船などをぬるに、水を濁さず、名付て知也年塗と云ふ

鹿の子餅

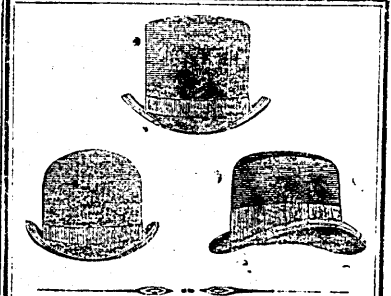
押込

作者不詳

押込とも相説して、どかく小い所い仕事にならず、越後屋へ道入にきはめ、人にきつ附て呉服物などよされては錢にならず、勇角此方大勢で手はつよくしつけ、出るほどのやつ縛り、漆摺をはめ柱へくしつけ、初心次第に呉服物も出すべしとて、道入たごころ、ソリヤ押込といふよりかけて出る、手代判と下男、出るしはり出る、も縛り、片はし強くつわをはめ柱にくしつけ、又跡から出る縛れば又出るしはれば出る、どうも縛りつくされず、そのうちに夜が明けて、鳥かか

小敷

息子の小つみ、親仁以ての外立腹、友送へ送ても其小言、友達も氣の毒がり、いや其やうにかつしやります、主の敷はいか器用で、それしやも我を折ます、まづちとわの音をささなされど、息子をよび出し、さあ、なんぞみじかい事かやや様にかきせ申たい、早うはじりたてへといふに、敷とあけしらすた青色、いか様の妙音、親父もさをもつみし見て居れば、息子つみを肩よりかろし、其皮へくひさ紙をして張らんとする時、親父一枚で張れ一まいで張れ



冬物帽子各種新荷相揃候間不相變御用向被仰付度希望仕候
尙書面ニテ御注文之節ハ、角山、中山、中折、及色黒或ハ裏付、裏無、等概略ノ御指直ヲ以テ御用向被仰付候ハ、直段ハ最モ勉強致シ格好其他精々注意可仕候間何卒御引立之程奉願上候
東京馬喰町二丁目（電話浪花九二三）
長瀬富郎 洋物店



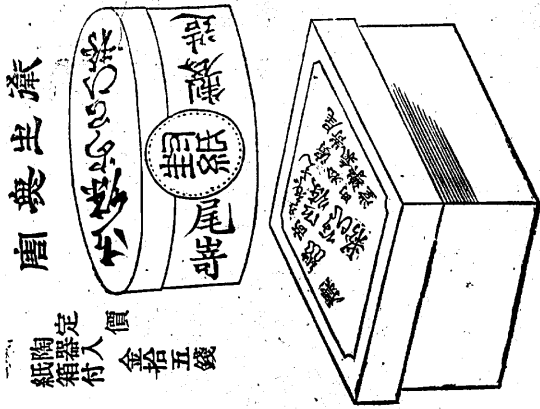
東京市神田區五川町拾貳番地
各石 驗製造元 澤井 栖蝦
東京市日本橋區山町壹丁目
特約大販賣 天野 源七

巻賣用パイプ
薄荷パイプ材
ライスベーパー
各種製造元
舶來パイプ問屋
東京市日本橋區
通鹽町山番地
菅谷爲吉



東京市日本橋區
通鹽町山番地
菅谷爲吉

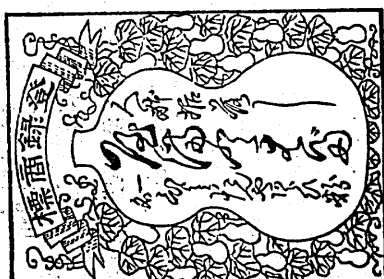
東京市日本橋區
通鹽町山番地
菅谷爲吉



定價
紙入器入 金拾五錢

衛生發明に依る洗滌は普通の石鹼亦は洗粉の比に劣り多量の
精微に依り實地的發明に依る精良佳品にして種々な垢落し洗料中
尤も効なる品を撰み白色剤を以て精煉したる他に比類なき良薬品
なり (従來の石鹼は身体を洗滌したる後皮膚を荒す物なり又廉價組
製の石鹼に至ては皮膚に毒物を生ずるの恐あり時に婦人の如き化粧
を爲すに於ては再び石鹼を用ひたる後皮膚の洗粉又はぬいかな等を受
し尚其上に化粧下しの如き物を用ひ) 本品に於ては右の如き二種の
手敷を頬はさき共に二種にして能く垢を落ししかりを細にしスゴクど
して身体を清潔と專ら紙に盛られず亦や多少は同様化粧下いらす
の有用品なり

用法ハ 御手拭をまろめなうとり御用ひあるべし
功能ハ 色を白く肌をやわらかに垢を落す專ら皮膚科醫使御使用の
上は功能の優りならざることを信じ御用路を巡り事
至らば發明人の幸致之に過たるはなし



定價
小袋六十八 金拾五錢
一箇 金拾五錢
小袋廿八 金五錢
紙包 金五錢

本能書二委
効能用法ハ

發明製造元 靜岡縣濱松町 後堀五十六番地 尾崎氣樂堂
發賣代理店 東京市南區本町 高木新助
關西代理店 京都府原田町西ノ入 小海津與兵衛
大發賣店 東京市南區本町二丁目 尾崎氣樂堂
同 同 同 同 同 同 同 同
同 同 同 同 同 同 同 同
同 同 同 同 同 同 同 同
同 同 同 同 同 同 同 同

其他東京小問物商會各店三ノ販賣仕儀
買御運之方ハ代理店又ハ特約店ハ御申込被下度相察引仕儀

東京下谷池の端 貴金屬商 玉寶堂
仲町二十九番地 衛袋物商 長岡商店
須田町六番地 類小問物商 電話本局三百五十五番
●特約發賣元 日本橋區橋町四丁目
電話四八番 (善) 丸見屋善兵衛

專賣 人造珊瑚珠

根掛部	一緒ノ及珊瑚玉之部
甲	六分六釐三
乙	五分三釐三
丙	四分三釐
丁	三分三釐
戊	二分三釐
己	一分三釐
庚	一分
辛	九釐
壬	八釐
癸	七釐
甲	六釐
乙	五釐
丙	四釐
丁	三釐
戊	二釐
己	一釐
庚	八釐
辛	七釐
壬	六釐
癸	五釐
甲	四釐
乙	三釐
丙	二釐
丁	一釐
戊	八釐
己	七釐
庚	六釐
辛	五釐
壬	四釐
癸	三釐
甲	二釐
乙	一釐
丙	八釐
丁	七釐
戊	六釐
己	五釐
庚	四釐
辛	三釐
壬	二釐
癸	一釐
甲	八釐
乙	七釐
丙	六釐
丁	五釐
戊	四釐
己	三釐
庚	二釐
辛	一釐
壬	八釐
癸	七釐
甲	六釐
乙	五釐
丙	四釐
丁	三釐
戊	二釐
己	一釐
庚	八釐
辛	七釐
壬	六釐
癸	五釐
甲	四釐
乙	三釐
丙	二釐
丁	一釐
戊	八釐
己	七釐
庚	六釐
辛	五釐
壬	四釐
癸	三釐
甲	二釐
乙	一釐
丙	八釐
丁	七釐
戊	六釐
己	五釐
庚	四釐
辛	三釐
壬	二釐
癸	一釐
甲	八釐
乙	七釐
丙	六釐
丁	五釐
戊	四釐
己	三釐
庚	二釐
辛	一釐

商標

此馬石鹼

美色を自ら美粧する物と
これに代りてはあせりた
むと凡て皮膚病を治す
特効ある良薬なり
三個の箱入全品見本に就
を御覧下さい
お買の上御用路を
ごらん

目丁坂町山橋京東 製謹財定見福

化粧のそとぶの効能

あまのれ。水気多。乾。肌。性。の。く。ま。

まさな月あまをさゆらゆら

東京市日本橋區通都町五番地
山田篤三謹製

商標 氏田山 登録

本品の特色

普通品に比し四倍
低廉にして最も
光澤頗る艶に於て
滑らかなるはゆす
をけるらるるなり

製造元 山名 森川積善堂
東京市日本橋區橋町四丁目小問物商
發賣元 (善) 丸見屋善兵衛
電話池田四八番

發賣店



新 意匠 玉手箱信

此玉手箱石粉は精製... 美術金製の箱... 東京小間物卸商組合中



價格低廉賣方最多數ナルハ乙女肌也

祖 元 西 洋 花 乙 女 肌



の直上仕候間何卒御聞濟被成下度併て奉願候也頓首

候間無據來十一月一日ヨリ一箱二付一錢宛

上申出べく心得之處其内には下落致す哉... 難斗存じ見合居候處其後追々騰貴致候



候間不相變御愛... 願御引立被成下... 度偏に奉願候也

品質純良芳香馥郁ナルハ乙女肌也

全國一手發賣元 東京橋本町三丁目 田中花王堂

追日冷氣相催候處全國各御得意様益々御盛榮奉欣賀候儀乙女肌の儀昨冬

は諸國注文一時に相成且原料切迫之爲め御販賣の... 御間を欠き一處幾重にも御詫申上候本年は右



醫科大學教授 正六位 下山順一郎先生証明

免印藥石... 製造發賣元 鎌田善次郎

製造發賣元 鎌田善次郎... 東京日本橋區小傳馬町

製造發賣元 東京橋本町三丁目 田中花王堂



奏効峻烈新輸入化粧劑



煉製 水製 粉白性毒無



第四回内國褒賞拜受 官中御用海外輸出之鼻祖

Vertical text on the far left edge of the page.

● 櫛、簪、簪の流行

此程の時季新報に左の如く記載ありたり。茲に轉載して參考に供す。

櫛式用櫛、簪、櫛は無地藍甲半京大形物、簪は兩角無地又は胴入、差込は松竹梅、菊、牡丹、花客等種々の花鳥形、但し花は一對又は一本、或は花なし等にて思ひくりに用ふ等、最も流行せり。其價は頗る區域廣しと雖も先づ普通櫛、簪にて四五十圓位を中等とす。近來世俗段々贅澤に流れ中等以上の品大に賣行きを増せり。又馬爪卵甲等廉價なる模造品も賣行き盛からず其直段は最上の品櫛、簪にて八九圓位なり。

備式用後差類、は無地藍甲無圓形打差込(花付)、花模樣は大略前同様の種類一對又は一本を用ふ。流行す其價は花付一本七八圓を中等とす之に次ぐは花向差、平打彫刻或は金銀平打等に花向差平打彫刻は代價五圓より十圓平打は金にて二十圓銀にて二圓前後なり。

九輪差、は無地藍甲半京形櫛、角形中差、其價は大略十五圓位を中等とす。模造品は最上三四圓位なり。

後差類、は平打或は模造形藍甲足に玉入類を用ひ玉は珊瑚珠、瑪瑙、象牙又は金地時鐘之山彫入(貝象彫入)又は金彫刻象眼推朱等にて珊瑚は五分五にて二十圓前後、瑪瑙は七八圓象牙及び金地時鐘等は三圓より五圓象眼推朱は一圓位なり。

常差類、は無地藍甲の半京形櫛、角形中差は相續し流行す之に次ぎ政子形の櫛、面取中差とす。班布又は時給類にては矢張り政子形の櫛、面取中差等最も流行す。櫛は金地高時給或は彫付金地時給、金地之山彫入等の種類にして代價は大概十圓位を中等とせり。

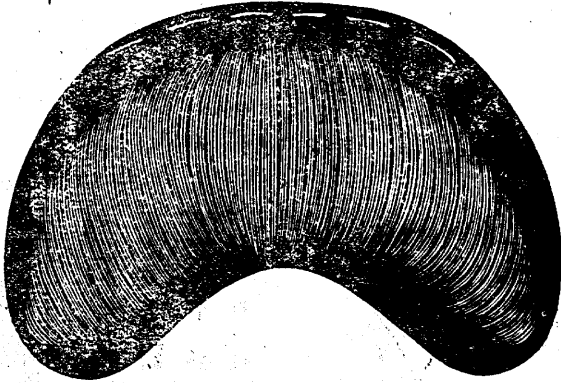
時給類、は無地藍甲彫刻時給平打九五金地時給、芝山彫入、研出し等にて代價は三圓位なり。

● 職工條例に就て

今同農商務省工務局に就て起草中なる職工條例は當局者の説明を所

の主意目的範圍進行及其制定に當りて懸望する所なりと云ふを聞くに先づ主意とする所は社會現時に相當する條例を作り以て國利民福を圖るに外ならず其目的は固より收率に取らざれども要は労働者の衛生を保護し以て社會經濟の發達を謀り労働の効驗をして完全ならしむると同時に廣く國家教育の普及を計るに在るならん其範圍は職工條例と稱する時は或は職工にのみ關したる民法以外の特別法の如き感あれども其實際西諸國に於て見る所の工場條例も此内に含蓋せしめて工場に關したる規定を置き以て工場の取締をなし内政の一部なる治安警察衛生等の不足を補助せんとするなり。下の進行は其局に當れる人々現時既に關西地方各工場の視察を終り去月廿八日より府下の工場を巡察して以て案を起し成るべく本年の議會に提出する等其懸望せる所は勿論日本職工の慣習を第一として制定するは言迄もなければども泰西諸國に於ては既に古き時代より此條例の制定せられたる者あり又之に修正を加て稍完備せる澳太利法の如き者もあれば是等を參考して本邦の風俗習慣に照し且善長と認むべき者は之を參照採用する事もあるべし果して以上の如き者なりとすれば本條例發布後は職工と僱主との關係は勿論職工等の利益を保護すると同時に現時弊害に堪へざる職工争奪の弊を防止大に労働者の効驗を増進し國利民福を増進せしむる者なれば其必要なるは勿論なれども尙一つ該條例の必要あり職工には民法と獨立して特別の條例を要する事是なり設令は修正民法に於ては雇傭契約に關して其第六百二十六條に於けるが如く「雇傭の期間が五年を超過し又は當事者若しくは第三者の終身間繼續すべきは當事者の一方は五年を経過したる後何時にても契約の解除を爲すことを得」とあれども其の但書に於ては「但此期間は商工業見習者の雇傭に於ては之を十年とす」とあるが如く種々なる點に於て民法の規定に依る可からざる者あるを以て職工條例の必要を見し者なりと當局者の説明を所

大改良新製のけまの形



今様東京流行とうえん入まけ形製造廣告

- 自慢形 燈具入り別製 尾上御五郎好
- じまん形 どうしん入り 燈具入りめいしゆりやん製
- 三橋形 どうしん入り やまゆり形
- 福助形 縮緬藍色香飾 燈具製御句入
- さくら形 新橋柳橋流行 紋飾了特別製
- いさみ形 眞燈いさみ形 柳橋形 一乃字形
- 柳橋形 どうしん入り
- 新橋形 どうしん入り
- 花王形 どうしん入り

商業擴張之廣告

弊店儀豫テ當紙上ヲ以テ廣告仕置候過去月一日新築家屋エ移轉開業仕候ニ付テハ此際一大改良仕見本陳列場ヲ設置シ各國ヨリ有ユル新形流行品ヲ取寄一目標百種ヲ御覽ニ入御便利專一ニ仕置候間各位御上京之際ハ御來店之上陳列ノ物品御一覽ニ預リ度左候得バ品質之純良ト意匠之精巧且薄利勉強ニ販賣仕候等ノ儀モ御會得相成候事ト奉存候間是非共御來臨御一覽之上多少共御注文之程偏ニ奉願上候敬白

明治三十年十月一日 東京日本橋區橫山町一丁目 萬屋 號 長郷商店



帽子 洋傘 卸商 長郷商店

發行所 東京小間物卸商組合事務所

●加奈陀通過税の成行に就て 既に米國に於て制定公布したる關稅法は其第二十二條に規定して曰く合衆國に屬せざる船舶にて輸入する一切の貨物并に合衆國に接續せざる國の産物製造に係る貨物にして合衆國に接續する國より輸入する貨物は定率の外從價一割の特別税を課すべし但條約規定により合衆國の船舶にて輸入する商品と同一の課税を以て輸入を許したるもの並に接續國より小賣取引を以て輸入するものは此限に非ず云々と右の規定は昨今に至り頗る重要な問題を惹起したり前記明文に依れば特別なる條約に依るの外當國を通過する諸外國の船舶に搭載して輸入する貨物は悉皆從價一割の特別税を課せらるゝ等にて當國との條約上此の如き特典を有するものは獨り獨國及び英國船のみにして獨國船は何國の産物を輸入するも當國船にて輸入すると同一の税を以て輸入を許すべきの條約あり又英國船は歐洲に於ける英國の版圖に於て産出する貨物に限り當國船と同一の税を以て輸入を許すべしとの條約あり去れども其他の船舶に積みたる荷物は皆特別税を課せらるゝこととなり先般來我邦よりセントル港に運航せる船舶にて輸入する荷物も亦之と同一の不利を蒙るに至るべし又當國に運航する國は北に加奈陀あり南に墨西哥あり従來墨西哥を經由して當國に輸入する外國の荷物は極少量なるも加奈陀を經由して輸入するものは生絲製茶を始め我國及び東洋諸國の産物に屬するもの少からず然るに右の規定は果して其明文通り外國船輸入貨物并に接續國經由の外國荷物に對し悉く特別税を課すべしと解釋すべき者なるや否や目下當國「アットルニセニナル」に於て調査中なり而して同節は已に本月十一日を以て接續國を經由して輸入する外國貨物の内一旦加奈陀に輸入の手續を了したる後更に之を當國に輸入する場合には明文の通り従來一割の特別税を課すべきものと決定せり去れども本邦其他東洋各國の産品にして暹羅坡に

陸揚し同駐在の合衆國領事の封印を得て當國に輸入するものに關しても前記特別税を課すべきや否やに付ては未だ決定する所なし尤も愈々上記の輸入品に特別税を課することに決定せば加奈陀政府に於ても亦同様の政策を實行するの畏れあり而して合衆國を經由して加奈陀に輸入する貨物は一ヶ年二千二百萬弗にして加奈陀の産物の合衆國を經由外國へ輸出する者は二千萬弗なるに加奈陀を經由合衆國に輸入する貨物は僅に七百六十萬弗にして加奈陀を經由外國へ輸出する合衆國の現品は主に穀物なるが其額は格別多からざるを以て念々上記の額末となるべきは當國に於ては海陸の運輸事業に従事する者は全体に於て損失を受くるに至るべし且之が爲め商業途頗る不利を蒙る地方少なからざるが故其筋に於ては今後如何に之を決定するや判断せざるに若し爾前記の規定を明文通り解釋實行するに至らば我邦より當國に輸入する貨物は今後暹羅坡を通過すべからざるに至るべく且つ當國に運航する我邦船にも少なからざる影響を及ぼすに至るべし云々と紐有領事より報告ありたり

●代金引換小包郵便物に就て 代金引換小包郵便物に關し廣島郵便電信局より代金引換小包郵便物を到着局に於て誤て通常小包郵便物とし其宛名人に配達したるに宛名人に於て該代金を直接に差出人に送付したるより差出人は既に納付したる手数料拂下を願出せしが如何に取計可成故との伺に對し右は配達局取扱者の過誤に出で其儘配達を了したるものにして普通小包郵便物と爲すべきものにあらざれば代金引換の手数料を還付すべきものにあらずと指示されたり

煉 祖元いろしお

小瓶	四錢	新大	十三錢
中瓶	六錢	極大	廿錢
大瓶	八錢	別大	卅五錢

共口瓶入

定價

小瓶 四錢

大瓶 八錢




本舖 東京日本橋區 東山町三丁目 (電話原花 四十二番)

協田盛眞堂 東京小間物卸商組合中

CORAL DEALER.

皇國 舶來 珊瑚珠

珊瑚樹 枝置物數種 其他珊瑚一切

珊瑚 美術彫刻品 他需ニ應ズ

今般業擴張致爾後多少ニ拘ラズ廉直販賣仕候間御愛顧御引立ノ程奉願上候

珊瑚珠問屋 大坂南區大寶寺町 小栗勘兵衛本店

東京馬喰町三丁目 小栗勘兵衛支店

問屋 善一 長倉爲次

日本橋區南町三丁目

●秋季種痘の訓令 今月四日内務省訓令第九九號
從來各地方に於ける種痘施行の状況を觀るに多
くは秋季を主とし秋季種痘は或は全く施行せざ
る町村も少なからず蓋し秋季は農家收藏の時な
るを以て勢ひ此種痘を敷いたるものなるべし
と雖も痘瘡の流行は之を既往の實歴に徴するに
概ね十一月、十二月の交より翌年四五月に涉るを
常とするを以て今秋季種痘にして普及せざら
ん乎秋季種痘後出生の兒童は多くは未だ種痘
を了へずして流行期を迎ふるものにして甚だ危
險の至に付自今市街地に於ては主として秋季に
於て種痘し其他村落に於ても可成秋季種痘の一
層行届候様措置すべし

●京坂旅行日記

九月十九日 新橋を發し靜岡に到着 午 尾 足 平
同 二十日 正午靜岡を發す此流車急行にして濱
松、豊橋、大府、名古屋、岐阜、大垣、米原、草津、馬
場、京都等の外は停車することなく最も愉快を
覺へつゝ、夜十一時大阪の旅館に着せり
此途中目に觸れしものは靜岡縣下の暴風雨被害
に於て就中江尻郡岡の近傍には大木倒れ或は折
れ猶家屋の大破等も随分山ある様に見れたり
此日流車中にては小雨なりしに若夜の後開けは
同地は頗る大雨なりし由

同 廿一日 特約店數名を訪問す折から五二會員
の發起にて彼岸を數込み大阪俱樂部に於て南區
製産物品評會兼廣告獎勵會あり其氏の案内に依
て之を觀覽せしに其廣告中最も衆目を引きたる
は、惠比壽ビールが噴水器の利用、田中節酒造の
運池中の茶の間、及び森玉林堂の健胸丸の首、津
村順天堂支店の中將、伊藤仁善堂の錦の旗、某
看板師の世界元標等、何れも意匠を凝したる廣
告なりしに規模大ならざるが故に働工場の形狀は
免れ難しと雖も併し一の小博覽會と見て可なり
大阪地方の勸業事業に熱心なる只一感服の外な
し


同 廿二日 神戸に至り第二回水産博覽會を觀る
會場は即ち神戸市楠町七丁目舊鐵道舊屋敷跡に
在り今春第六回關西府縣聯合共進會を開きたる
所に於て敷地一萬二千九百餘坪を占むる市中
央高丘に位するを以て東方に瀕頭を望み風光頗
る佳なり而して第一號より第六號に至る陳列
場六棟 審査室事務局出張所、分析室、附屬水族
館、各一棟を重ねた建物とし別荘、附屬水産
陳列場を設け會場構内の奏樂室を陳列場に充て
尚又和樂園内の眺望樓をも陳列場に充てり
第一號館 會場表門の正面に在り館内に東西に
區別し西を官廳出品とし東は第一部水産漁業に
關する出品物を陳列す

第二號館 第一號館の東隣に在り其入口の右方
は第一號と同じく水産漁業に關する物の出陳、
左方は淡水漁業に關するものを陳列す
第三號館 第二號館の西北、第一號の後面に位
す其入口より館の一半へは加製飲用品を陳列し
東方には陳列に關するものを陳列す而して西方
の一部は教育學藝に關する出品物にして此等は
出品少數なるを以て府縣別とせず部類別として
陳列しあり
第四、五號館 第三號の西北に相並び水産肥料
及之に關するものを陳列す
第六號館 第三號館の西方にあり乾燥器其他機
械類を陳列す
以上各館の外に百四十坪の面積を設けて漁具漁
船を陳列し第一號館前奏樂堂二ヶ所各六坪をも
陳列に充て尚第一、第二號館の間に大小盆池三
個を設け金魚、鯉、鰻等を放養せり
水族館 兵庫和田町なる和樂園内に在り即ち去
年廿八年第四回内閣勸業博覽會の際附屬水族館
を設けられし所に於て機械室貯水池、鹹水淡水
の二部に分つゝあり淡水の貯水池へ各水を滿た
し置き機械室に五馬力の石油發動機を以て三十
尺の高處に汲上げ管を通じて各養魚池に給水し
其水は再び貯水池に戻る装置にして國中に各種
の水族を放養す
眺望樓 和樂園の中央に在り二層樓なり第四
部六十四號の標本類の一部を陳列す
製鹽場 和樂園構内の地を劃し鹽田凡そ三畝歩
を築造し釜屋、鹹水貯藏室、納屋を設け實地に製
鹽業の状況を示し製鹽器具を陳列す
因みに記す前回に於ては各部共に著しく進歩
せしは勿論の事なるべしと雖も就中目新らしき
は臺灣總督府の出品にして一見頗る快活を感ず
るのみならず珍奇なる物も亦多し猶水族館中
ノラマ畫にて相撲灘の海魚百種の想像圖、及び
製鹽場の實地或は大小種々の魚類が游泳しつゝ
ある處の如きは都人士の最も奇とし珍とする所
なり而して

東京府委員事務所 兵庫羽坂通二丁目福昌寺
中に在り杉浦耕成、水野致遠の兩氏委員として
出張せり小生事務所を訪みて杉浦氏に面會せし
に氏曰く東京の人は在外不熱心で因る貴下も定
めし御覽ならんが貴組合中の出品は唯僅かに貴
下と三輪善兵衛氏あるのみなり今少し々番賣あ
るや何卒皆さん云つて下さり又是非とも一
度は見物に来て此實況を見るやうに誘導して下
さいと成程小生の一見したる處にても珊瑚類は
高知縣の出品を第一とし鹽田は東京府中野區の
出品に係る標本及び組合外の貝貝工等あれども
他に比較すれば東京府は餘程少なき様見受たり
同 廿三日 大阪に滞在難用を終へ夕刻京都に向
ひ出發す (未完)

帝國醫科大學第二兩院御用
日本赤十字病院御用
其他各病院御用
右羽衣石鹼ハ品質善長芳香優美ナル他ニ此類ナ
キ最効能ノ良品ナリ
故ニ陸軍軍醫總監 石坂惟寛先生
實驗証明醫科大學藥學士 兒島高里先
生 証明有リ
トニ傍注目アリテ陸
軍ト製 (石井勇助) 傍注文奉希上候

石鹼大王
全國無比



定價 大瓶 五十錢 中瓶 三十錢 小瓶 七錢
別製 五十錢 三十錢 七錢

此別製はしるいへ一目見れば只の鹼水の如くな
れども不思議にいづるを白くする事雪の如く玉の如
し行水濁わがかりやみを用ひすして其場ですぐに
用ふるも決してむらにならず○あせす○ふきで
物に立所にさがるがゆゑにこれを用ひすは一人一
倍の光彩を放つ

化粧品小問物商賣問屋
東京日本橋區横山町三丁目一番地
自光散本店 ①三橋兔喜次郎製

約代理店
東京日本橋區横山町一丁目 天野源七
同馬喰町一丁目 平尾賢平
同通町四丁目 丸尾善兵衛
同通町三丁目 山田三
同馬喰町三丁目 武井龍三
同神田區清治町 大木口哲台會社
全國至る所の小問物店及大藥店と販賣所あり

原品直輸入元
獨シイマシグ會社




原品直輸入元
獨シイマシグ會社

白香水
此白香水は世間在來の物と大に其質を異にし純好なる原料
に純性麝香を混和せるを以て芳香佳烈一たび用ゆれば皮膚
滑かに色澤を加へ一種得ならぬ白く含み其爽快なる云々
が本一凡に江湖高評を博し一日需用の増加するハ
實に其名に符かざるを以てなり乞ふ益々修愛願請試用之能
伏爾奉希望候

發賣元 東京市神田區柳
原川岸十八番地 小林富治郎
市内は勿論全國至る所の和洋小問物店及藥舖に販賣致し居
候最奇に御購求を乞ふ

優等
入香麝
特別練製



優等
入香麝
特別練製

發賣元 東京市神田區柳
原川岸十八番地 小林富治郎
市内は勿論全國至る所の和洋小問物店及藥舖に販賣致し居
候最奇に御購求を乞ふ

器械本煉製...品質善良

獨逸石鹼 是以從來一個十錢三個入賣...

便利店

- List of various shops and locations for soda ash products, including names like 帝國堂, 花王, etc.

本舖 東京兩國廣小路...大木口哲化粧品部...御賣部大木口哲合名會社

清心丹 advertisement with detailed text and a small illustration.

高木與兵衛 advertisement featuring a fish logo and text about a medical or health product.

石鹼 advertisement with an illustration of a box and text describing its uses.

后蠟 advertisement featuring a large illustration of a candle and text describing its quality.

流行鬚形廣告 advertisement with an illustration of a mustache product.

別製燈心入 advertisement with various circular graphics and text.

橋三定價 advertisement featuring a circular logo with 'TOKYO MIHARI TOOTH PASTE'.

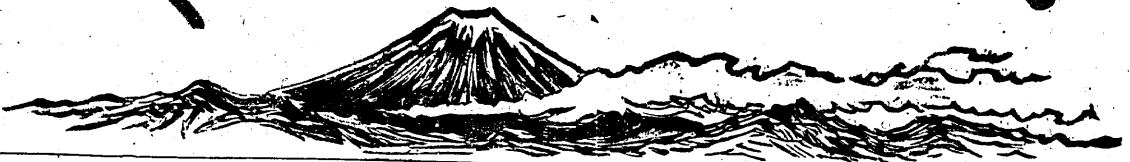
學校用品 advertisement with various icons for school supplies.

大勉勵の advertisement featuring a portrait of a person and stylized text.

Vertical text on the left margin: 毎月十五日廿五日三連發行...

東京新聞

第... 號



雜報

●米國萬國博覽會 明治三十一年六月一日より十一月一日まで米國合衆國チラスカ州オマハ市に於て開設のミシシッピ州附近諸州博覽會及び萬國博覽會へ出品企望のもの左の條例に依るべき旨去る八日農商務省第三十六號を以て告示ありたり但し政府に於てハ參照せしむ

(千八百九十七年省令第七號稅關部)

千八百九十七年十一月十一日華盛頓府大藏省に於て

左の議會制定條例(第百九十九號)千八百九十六年六月十日大統領の裁可を経たり

千八百九十八年チラスカ州オマハ市に於けるチラスミシシッピ州及世界博覽會開設の許可及獎勵に關する條例

北米合衆國の高貴及西半球の進歩開明を表彰せんが爲め又美術品、工藝品、製造品、及水、陸、嶺山の生産物を展覽せんが爲め千八百九十八年チラスカ州オマハ市に於けるチラスミシシッピ州及世界博覽會の開設を獎勵せんことを欲し又た内外貿易に資すること著大なるチラスミシシッピ州地方の重要國産物を展覽せんことを欲し又たチラスミシシッピ州地方及其他國內諸部の進歩發達を表明す可き美術品、工藝品、製造品、生産物の出品に獎勵を與へんが爲め

又た本國國民は固より墨西哥、中南亞米利加及其他世界諸國の國民をも合衆國議會の准許に於て與らしめ以て右展覽は國民的たるに共世界性的たるの實性を具へんが爲め

又た合衆國西部の中心に開設する右の如き博覽會に於て合衆國民及我大陸諸國の人民を集合せしめんことを欲し又た右集合は頗る有益なるが爲め又チラスミシシッピ州及世界博覽會開設協會は千八百九十八年六月一日より同年十一月一日まで右博覽會を開設せんことを企畫したるを以て亞米利加合衆國の元老院及代議院に集議の上左の件々を議定したり

第一節 チラスミシシッピ州及世界博覽會は同會開設協會の保護に依り千八百九十八年チラスカ州オマハ市に於て開設すべし
但し合衆國は右博覽會の開設に附隨し若くハ由來する費用に對し何等の責任をも有せず
第二節 右博覽會陳列の唯一目的を以て外國より輸入する物品にして輸入課稅品に屬する分ハ大藏大臣の布達する規則に従ひ總て輸入稅、税關

手数料及雜費の納入を免除す
博覽會開設中ハ何時たりとも大藏大臣の布達する納稅取銷及輸入稅徵收上の規則に従ひ閉會後引渡の約を以て會館内若くハ會場内に陳列せんが爲めに輸入し且つ實際陳列中の貨財を販賣することを不得
但し合衆國內に於て消費せんが爲め販賣し若くは撤去する物品にして課稅品に屬する分は總て輸入當時施行の納稅法に依りて徵稅す可し
法律に規定する刑罰は總て右不法の販賣若くハ撤去の犯罪者にも適用し施行すべきものとす

第三節 合衆國政府は其行政官省「スミスソアソン」館、合衆國漁業委員會長及國民博物館より平和の際に於ける同政府の職司及政務的官能と戰時の強國としての實力とを表明し延びて我制度文物の本質及人民の要求に應じて之を適用することを表証す可き物品材料及同博覽會に陳列す可し政府は此等政府出品物の整理を完備せしめんが爲め更に一の事務局を設け以て諸省長官「スミスソアソン」長及國民博物館長各該省政府出品物中に加へんと決定する物品及材料の選擇、準備、整理、保管及陳列の事務を執らしむべし大統領ハ亦た尙ほ他の物品をも指定し出品せしむることを得

右事務局長ハ各行政官省長官、博物館長及大統領各一人宛事務局長を任命し之を組織し局長ハ大統領之を任命し他の有要官吏は局自ら之を選任す

第四節 大藏大臣はチラスミシシッピ州及世界博覽會の開設地を指定せられたる地域に於て政府出品物に供す可き諸建築物の工事を起す可し從て同大臣は他の國有建築物に對する同一の方法を規定し且つ依り右工事の契約を締結することを許され且つ命ぜらるる但し同建築工事の契約金額ハ五萬弗の額を超過するを得ず
大藏大臣は右博覽會閉會の上同大臣の定めたる方法に依りて相當と認められたる評定價格を以て右建築物若くは之の材料を購入するや否やオマハ市若くハチラスミシシッピ州及世界博覽會開設協會に照會の上之が處分を爲すの權を有し且つ之を爲すことを要す

第五節 合衆國以前節に云へる建築物の工事、政府出品物の運搬、保管及藝術に要する費用の支出、右建築物の維持、政府出品に屬する物品の送達及其他目錄及證書に依り大藏大臣の承認を経可し臨時の費用を除く外同博覽會の爲り別に其開設に關し若くハ開設より來る間接の費用に對して何等の責任をも有せず

右建築物の全費額ハ五萬弗の額を越るを得ず各別の用途を以て陳列する政府出品物に要する費用ハオマハに至り又オマハより華盛頓に至る運賃をも合して十五萬弗の額を越るを得ず即ち總額に於て二十萬弗以内なるを要す但し政府に對しては何等の債務をも起すを得ず又右博覽會開設協會に於て同博覽會開設に付き信用株の募集、寄附、贈與、若くハ諸多の徵收金より釀集したる金額二十五萬弗より少からざることを大藏大臣に於て承認するに足るべき證據を同博覽會事務局長より同大臣に交付する迄ハ本條例に従ひ金錢の支出を爲すを得ず

廣告料 五號活字廿二字一行情三回一圓金拾貳錢四回以上六回拾壹錢七回以上拾貳錢 發行所 東京小間物卸商組合事務所

東京小間物卸商組合事務所

第六節 本條例に従ひ任命されたる委員ハ旅費及委員の職務に由り旅中に在る間各日の資料として大藏大臣の規定したる相當金額の外其職務に對し合衆國庫より何等の報酬をも受くるを得ず
同委員附屬の官吏ハ大藏大臣の認可を経同委員に於て規定したる報酬金を受く可し之に對する委員ハ右博覽會補助の爲め議會の議決したる金額内より支出すべし

第七節 チラスミシシッピ州及世界博覽會の開設及其出品者に對する褒賞を紀念すべし特殊の意匠、標號及銘字を具する賞牌ハ右役員局の爲り千八百九十三年の結算條例第五十二節の條項に依り賞牌より少からざる委員を納付せしめ合衆國の實費局に於て準備す可し
合衆國貨幣の偽造製造に對する同條例の條項は其刑事たるに否に關せず總て本條例に由りて製造し發行したる賞牌に適用すべし

第八節 合衆國は如何なる事情あるも下記の事に付き何等の責任をも有せず
一 チラスミシシッピ州及世界博覽會開設協會、同協會役員、代務人、使用人、雇夫、其他同協會に屬するもの、行爲、動作、處置若くハ代理行爲
二 同協會役員、代務人、使用人、雇夫、其他同協會に屬するもの、職掌、俸給、勞動若くは賞錢
三 資金株の募集
四 同協會の發行したる株式、証券、擔保証券若くは其他全般の義務
五 右協會の組織に付き若くは間接に其組織より生じ來る負債、債務若くハ其他全般の費用本條例中何れの條項たるを問はず事務委員が議會の特定したる支出額以外に作成したる負債若くは義務に對し又此種の負債若くハ義務の補給若くは償却に付き議會若くは合衆國庫の保護若くは金錢上の補助を要する請求に對し直接又ハ間接に合衆國の債務を創起すべきものと解す可からず(未完)

五二會録事

前田監督歸朝後直に全國巡回の件及同氏より來翰ありし旨を以て實業各團體中央本部より左の如く通報ありたり

前田會長歸朝後直ニ本邦巡回ノ件ニ關スル飛機

米國ニ巡回ヲ卒ヘテ今ヤ歸航ノ途ニ在ル實業各團體會長前田正名氏前ニ北米合衆國ニ於テ關稅問題及貿易擴張ノ件布哇事件等ニ關シ熱誠盡瘁ノ結果多大ナル實効ヲ奏セシハ米國及加奈太各洲ノ新聞紙并ニ在留本邦人ノ通信ニ依リテ其一斑ヲ詳ニスルヲ得タリシガ最近米佛二國ヨリ歸朝セル者ノ報ズル所ニ據レバ倫敦及巴里ニ於テハ本邦貿易振興ノ事ニ關シ更ニ一段奔走ノ勞ニ當リ晝夜殆ド寸間ナク結果亦極メテ良好ナルモノアリト蓋シ日ナラズ到達スベキ英佛二國ノ新聞紙其詳況ヲ吾人ニ報道スベキナ確信ス米國ヨリ通信及新聞紙ハ之ヲ翻譯印刷シテ既ニ世人ニ公報スベキ準備ヲ整エリ而シテ昨前田會長ヨリ歸朝後直ニ本邦巡回ノ途ニ上ルノ件ニ關シ左ノ書翰到達セリ各團體員諸氏希クハ會長ノ意急ニ情切ナル所以ヲ推想シ會長巡回ノ日可成得の多數ノ實業者ヲシテ其報告ニ接セシメント切望ノ念ニ堪ヘス

實業各團體中央本部

前田會長ヨリノ來翰

正名 今ヤ米歐二洲ヲ視察シ將ニ九月二十六日ヲ以テ佛國馬耳塞解纜ノ郵船ニ投シ歸朝ノ途ニ上ラントス而シテ多年本邦實業界ノ爲メニ聊カ微力ヲ竭盡シタルモノ之ヲ米歐各地ノ實況ニ照合シ來レバ不幸ノ正名ノ經營モモリナキニトラス朝野トモニ今日ノ機會ヲ空過セズ發奮以テ一大革新ヲ爲スニ非ザレバ國家將來ノ事殆ド言フニ忍ビザルモノアラントス此間亦寸秒ノ差巡シテ容レザルナリ是ヲ思ヒ被テ想ヘバ九屬寸斷ノ感ナクンバアラズ 正名 親シク各地實業界ノ狀況ヲ鑑察シ國家盛衰ノ根源一ニ國民ノ決心如何ニ存在スルヲ確カニ衷心切ク

各地ノ巡回ニ悠々日ヲ消シ去ル能ハザルモノアリ於是乎斷然歸朝ノ神戶ニト陸スルノ日ヲ以テ直ニ全國巡回ノ途ニ上リ一府縣下ニテ所限リ報告會ヲ兼テテ大ニ實業者ノ決心ヲ促シ國民ト共ニ本邦官民ノ今日ニ處スベキ方針ヲ研定センヲ希望ス 正名 近來身體殊ニ疲勞セルヲ覺シ全國巡回ノ途ニ上リテ以テ最終ト爲スベキヲ期セリ且從來二回ニ巡回セルノ後ナルヲ以テ今回ノ行尙其言聽カレズ其事行ハレザランカ正名別ニ又考フル所ナカルベカラズ要スルニ今回ノ巡回ハ全國實業者諸氏ニ對スル正名ノ生別ナルヲ知ラセラレントテ歸心矢ノ如シ言、意ヲ盡サズ請フ之ヲ諒セヨ 明治三十年八月廿八日 佛國巴里城ニ於テ 前田 正名

注 意 一各地宴會等酒食ノ席ヘハ如何ナル事情アルモ決シテ強場セザル 一送迎其他諸節ニ涉ルルハ總ベテ謝絶スベキト一府縣下ニテ所限リ其他何等ノ求メタルモ當場セザル

佛國郵船會社支店ノ言フ所ニ據レバ前田會長ノ乘船「Iルボルン」號ハ十一月一日神戶ニ於ケル報告會ハ十一月一日ニシテ大阪ハ同月二日横濱ハ同月十一日知レニシテ上海ハ同月二日神戶若ノ日時電報來ルベク其上ニテ確定ノ日時ヲ第一巡回ノ各地ニ通報スルヲ志ラザルベシ

Table with 3 columns: Date, Location, and Event. Includes entries for 30th Nov (1st tour) and 31st Nov (2nd tour) with destinations like 神戸, 大阪, 京都, etc.

Table with 3 columns: Date, Location, and Event. Includes entries for 1st Dec (2nd tour) and 2nd Dec (3rd tour) with destinations like 足利, 福生, 仙臺, etc.

Table with 3 columns: Date, Location, and Event. Includes entries for 3rd Dec (3rd tour) and 4th Dec (4th tour) with destinations like 途, 途, 途, etc.

Table with 3 columns: Date, Location, and Event. Includes entries for 5th Dec (4th tour) and 6th Dec (4th tour) with destinations like 途, 途, 途, etc.

Table with 3 columns: Date, Location, and Event. Includes entries for 7th Dec (4th tour) and 8th Dec (4th tour) with destinations like 途, 途, 途, etc.

第五巡回 三十二年四月上旬(凡ソ四月一日ヨリ同月十二日迄ニテ巡回ヲ終ルノ豫定ナリ) 第一日 山口 第六日 途 中 第二日 途 中 第七日 途 中 第三日 廣島 第八日 途 中 第四日 岡山 第九日 途 中 第五日 途 中 第十日 鳥取 四月十五日ヨリ二十一日迄京都ニ於テ 全國五二會大會

謝 辞 左に列記する諸氏ノ孰レも當時ノ實業界中ニ於テ其名聲最も錚々たるの人々なるが其熱誠の溢る、處又我商報の同業者を益するの勢をからざるを賞賛せられ加ふるに印刷費補助として各金若干の寄贈を忝ふせられし段弊組合一同及商報の面目之に過す依て茲に貴名を列記して聊か其厚意を深謝す (肥名順序不同御海慈)

- List of names and locations: 大阪市南久寶寺町三丁目, 徳岡 登代君, 同市堺筋順慶町, 和田 齋助君, 宇都宮本銀町, 築地 商店君, 越後村上町, 鈴木 三郎君, 伊勢國神戶, 寺尾 甚五郎君, 鎌倉八幡前, 鈴木 木太郎君, 信州北佐久郡岩村田町, 柳田 金五郎君, 京都市御幸町, 紅平 商店君, 阿波國撫養町, 紀國 善平君, 豊州島山町, 紙屋 幸平君, 下總佐原町, 抹香屋 文助君, 伯州米子糺町二丁目, 神庭 政七君, 久留米市通り四丁目, 前田 米助君, 遠州横須賀東新町, 熊崎 忠兵衛君, 杉山 茂三郎君, 駿州沼津通横町, 伊勢屋 爲治郎君

本組合録事

●本組合現員 三十年九月末日調
 日本橋區 一〇六
 芝罘區 一〇四
 四谷區 一〇一
 小石川區 三三
 下谷區 四三
 本所區 七
 都部南高師部 一
 計百七十九名

●農務省商品陳列館案内 同省陳列館にては去る八月一、一時閉館を停止し充分改良整理を爲し爾來益々力めて營業者を利用せんことを期しつゝあるは屢々記する如くなるが今又同館の案内を編纂して出品者及び一般公衆の経覽に便ならしむ即ち左の如し

●農務省商品陳列館案内 同省陳列館にては去る八月一、一時閉館を停止し充分改良整理を爲し爾來益々力めて營業者を利用せんことを期しつゝあるは屢々記する如くなるが今又同館の案内を編纂して出品者及び一般公衆の経覽に便ならしむ即ち左の如し

農務省商品陳列館案内

●本館の由来 本館は元貿易品陳列館と稱し戦後經營の一として貿易の擴張を圖り工業の發達に資せんが爲り昨明治廿九年四月開館次て公開し來りたりしに今明治三十年六月農務省官制の改正と同時に貿易品陳列館の特別官制を廢せられ更に商務局中に商品陳列館の一館を置かるゝに至れり抑も貿易品陳列館と云ふ商品陳列館と云ふ文字上之が解釋を下さば充分の差異あるべしと雖も畢竟此の商業の擴張を圖るに資し工業發達の參考に供し需用者其物品選擇するの便を得るべき有益機關たるに外ならず故に本館に於ては規則第一條に於て其陳列すべき商品見本の種類を定め以て前三者を利し邦家富源の涵養に資せん

●本館の由来及注意前運の如し世の營業者たる者取て他物視すること無く宜しく共に本館の利益を利益とし本館をして内外國重要物産の有益なる見本館たらしめんとを期せざるべからず

●本館の位置 本館は農務省建物の一部にして即東京市京橋區木挽町十丁目新橋より右斜の方向敷町以内又京橋より左斜の方向五町以内の處に在り同省と互に相後し六百〇六坪餘の建坪を有する堅牢宏壯の建物なり故に京橋より南みし新橋より北する人にして本館を一覽せんと欲する者には至て便利の位置なるべし

●陳列品の區別 本館の陳列品は内國産、外國産、新着品、比較品

●參考品、特許品の六部に大別し尚ほ之を細別すること左の如し

●内國産部 以本館の左側入口の處より二階及三階入口の右側一室に至る各室を以て之に充て農産、水産、礦産、林産、工業等の諸物品を類別陳列す

●外國産部 以三階入口の前面より次の一室を以て之に充て内國産部と同じく類別陳列す

●新着品部 以三階中央の一室を以て之に充て類別陳列す

●比較品部 以三階中央の一室を以て之に充て各比較品を陳列す

●參考品部 以新着品陳列室の側面一室と該陳列室の次の一室とを以て之に充て内外國産の技術上參考と爲すに足り得べき物品を相対て陳列す

●特許品部 以支關入口の一室を以て之に充つるも同品は目下整理中にて未だ公開するの運びに至らず

●陳列品の長況 本館の陳列品は標本と各府縣下營業者中有志家の出品とより成り其点数總計六千〇七十七点之内を内國産、外國産、新着品、比較品、參考品、特許品等に區分すれば即ち左の如し

●内國産 三、五二九点 外國産 八二〇点
 新着品 二、九二九点 比較品 八二〇点
 參考品 一、一九四点 特許品 〇

●内國産 生絲荷造見本、砂糖、煙草、薄荷腦及油、櫻桃醬、藍、醬、酒油、貝、乾鰯魚、組製及模製金屬類、各鐵物及石類、竹材及鐵材類、絹織物、友仙樂、敷物、刺繡、莫大小、洋服、レース、紡績綿絲、金絲、釣線網、陶磁器、七寶、金屬製品、漆器、電燈球、象牙細工、袋物、卸、指輪、燈籠、ナフキン、扇子、團扇、紙製品、煉瓦、帽子、樂器、文具、香水、香料、墨汁、齒磨、彩色料、玩具品、染華、刷毛、懷爐器、時計、米玉細工品及藤、玉簾、麥稈真田、花鞋及其カバン、竹木製品、車、ベヨベル及スコツプ

●外國産 生絲、綿、麻、羊毛、茶、煙草、染料、酒油類、各種詰箱、棉花荷造寫真、乾鰯魚、龍甲、貝、鐵石、砂石、大理石、鑛材、竹材、副産物、絹織物、交織物、陶磁器、七寶、金屬製品、敷瓦、漆器、石製品、硝子器、象牙製品、玩具品、扇子、團扇、羽毛製品、紙製品

花王 石鹼

花王石鹼ハ品質最良も善良にして特に皮膚の美艶をまし且衛生上大に特効あるハ長くも

官内省陸海軍 帝國醫科大學

●買捌所ハ全國至る處にあり

近來粗製品に類似の弊載を附し販賣する者有之に付本品の正圖則登錄商標及長瀬富郎名義に御注意の上御求取下度候

東京馬喰町二丁目電話九二九二 長瀬富郎 製

SANTARE DENTIFRICE LION

ライオン 齒磨の特効

本品は化學作用により多年實驗して好成績を得たるに依り一層原料の良質を選擇して精製したるものなれば從來世に行はるる普通齒磨と其質を異にして香氣麗都として口中の汚物と臭氣を去り齒質を雪白健全な 世界無比にして且該品を常用し齒齦を治し總て口中一切の病を患ふる無きと疑なし是れ本品の特効なり江湖の諸彦積々沙試用の上ハ高評あらんと云

東京市神田區原川岸廿二號地 電話花四九八番 小林富次郎

東京特約店 小中村商店

横濱特約店 支天目 中村商店

特約店 東京小間物卸商組

○賣捌所は全國到る所ノ小間物店ニアリ

新着品 絹織物、絹製品、レース織物、陶磁器、漆器、硝子器、扇子、靴、襪、襟留、比較品、絹織物、絹製品、絨氈、陶磁器、漆器、羽製品、象牙細工、呉産

内國産 結紐類、染革、陶磁器、金属製品、七寶、漆器

外國産 絹織物、レース織物、陶磁器、敷瓦、金属製品、七寶、硝子器、壁紙、文房具、携帯品、電燈用具、寫真板、室内用具、帽子掛類

特許品 ○

出品一覽表

出品名	出品数	出品人員	寄贈品数	寄贈人員
北海道	五			
東京	二八七		三九	
京都	二六		二四三	
大阪	一四六		四五	
神奈川	一〇三		一四	
兵庫	九六		三	
千葉	二五八		三三	
茨城	四		一〇	
群馬	四七		一五	
長野	三			
山梨	三			
石川	三			
富山	三			
福井	三			
和歌山	一六			
大分	二			
鹿児島	二			
計	四四〇		九三	
			三七〇	
			三三	

歴覽順序

本館の列品歴覽の順序は右より始むるも左より始むるも來觀者の隨意たるべしと雖も試に其歴覽順序を指し示せば本館の正門を入り正面の第一階段を昇り右折して第二階段を昇り二階に到る此間内國産工産物陳列區の一部分たり左折して農産、水産、鑛産、林産、器具等を歴覽して再び工産物陳列區に出で婦人室の處に到り同處を出て左折又左折して右折又右折して各種類を追て順序歴覽し其れより階段を昇り右側の一室に入り以て内國産部を終れり同室を出れば即三階入口にして外國産部たり同部に入り右折又左折し更に左側各種類の外國産品を歴覽し終て新着品部比較品部に入り珍奇の列品を歴覽し同部の左側一室を參觀部に入り出て、左折

し又參觀品部に入る順序通覽し終りて其行止の右方に應接所左方に書籍室あり諸書類を備ふ是より逆行參觀品新着品外國産部の右側通路を過ぎ去り階段を降り二階内國産陳列場に出で左側を通過し又階段の處に到る該階段を降り正門入口の處に出づ(平面圖に就き參照す)

(平面圖に附す)

來觀人の注意

一 總覽人は總て本館の規則及び揭示を遵守すべし
 本館一月一日より同七日まで十二月廿五日より同三十一日まで各休日を除くの外毎日左記の時間中總覽を許す

- 一月 八日より 午前十時に開き 午後三時に閉き
 - 二月 末日より 午後三時に閉き
 - 十一月 廿四日まで
 - 十二月 廿四日まで
 - 三月 一日より 午前九時に開き 午後三時に閉き
 - 三月 三十一日まで 午後三時に閉き
- 一 總覽は總て無料とす但總覽人は入口に於て必ず總覽券一枚を請取り之を看守に渡すべし尤も滿五年以下の者は之を要せず
- 一 杖傘其他携帶品を所持し又は香煙を率き入館することを禁す
- 一 但手提小籠は此限にあらす
- 一 館内に以て喫煙することを禁す
- 一 本館の承諾なくして陳列品に手を觸るゝ事を得ず
- 一 竊盜又ハ醉狂者と認むるときハ入館を禁じ又は退館せしむることあるべし
- 一 陳列品及飾箱其他の物品を損傷するるときハ相當の代價を償はしむべし
- 一 本館の承諾を得るにあらざれば陳列品を寫眞し又ハ模寫することを禁す

● 五二會補助費下附請願 五二會 東京本部にては明年三月三十一日東京に於て第二回全國五二會品評會開設の筈に付し上野公園内博物館に屬する諸建物に借用して會場を充つる計畫なれど尙一の建物の必要あり其設計をなしたるに殆んど三萬圓の不足を生じ何分此多額の負擔をなす能はずとの理由を以て他市の例を引き二萬圓の補助費下附ありたる旨去七月同部長森村市左衛門理事福島三三河津川惣助氏外三十名の連署にて市會へ請願書を呈出した

醫學博士 西野君實驗證明
 帝國齒科專門醫 山崎正秋君實驗證明
 前新潟病院院長醫學士 新庄直徳君實驗證明
 醫學士 渡邊泰君實驗證明

此ノ他諸大家証明及び賞狀アルモ略ス

内務省衛生試驗所御試驗済

海軍御用 海外輸出品

検査 東京市役所 丁目八番地 大野金五郎
 検査 東京市役所 丁目八番地 大野金五郎
 検査 東京市役所 丁目八番地 大野金五郎

めをほし歯磨



此めをほし歯磨ハ品質頗る佳良なり故に齒牙をして健全且光澤を發せしめ口中自ら清涼にして諸患を除去し又他の惡氣を拂ふに特効あるは既に諸名醫諸大家の証言に據りて明瞭なり是を以て今や海外に迄其名を轟かし日に在る事は輸出の増額を見るは弊舖の最も名譽とする所請ふ世の諸君若し命は食に在り食は齒に在る事を知らば常に此めをほし歯磨を使用して以て天授の幸福を全ふし給へ

製造發賣本舖 東京日本橋區馬喰町二丁目 金城堂 大野金五郎

海外代理店 北米合衆國 桑港ライオン街 高濱商店
 和蘭國 スムステルム 高濱商店
 取次所ハ全國到ル處和洋小間物商店及賣藥商店ニテ販賣仕候

真正 福助おし梅



新助好 みうら 梅白粉 特種の 効能

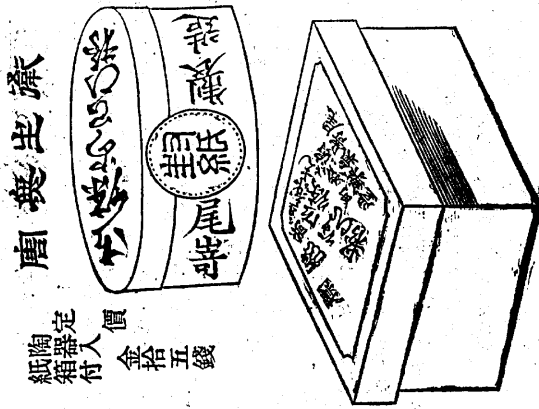
中村福助謹製

御賣 東京小間物卸商 組合中

鉛毒の害

普通白粉は其白鉛を主料として調製するものなれば之を多量に用ひれば其の鉛毒に罹たるもの其例實に夥しとせす殊に排膿、殺菌、殺毒等皆此の鉛毒に罹れば手に手足ひかれ或は身軀不具となり終に死に至りたるもの往々有之故に世の衛生を重んぜらるゝ令娘貴婦方天性の美麗光澤を保んと欲せば先ず此無毒衛生白粉與梅を御用仕あらんとす

全國一手發賣元 東京横山町二丁目十三番地 田中花王堂



定價
紙箱付 金拾五錢

此發明に係る此種洗粉は普通の石鹼亦は洗粉の比にむらす多量の
 經驗に依り實地發明に據る精良佳品にして種々たる垢を洗し了す中
 尤も有効なる品を獲ひ白色を以て精練したる他に比類なき良品
 なり(従来の石鹼は身軀を汚濁したる後皮膚を荒す物なり又廉價粗
 製の石鹼に至ては皮膚へ毒物を生ずるの恐あり特に婦人の如き化粧
 を爲すに於ては更に「石鹼を用ひたる後」通常の洗粉又はぬか等を要
 し尚其上化粧下しの如き物を用ひ)本品に於ては右の如き二種の
 手数を煩はさず其一種にして能く垢を落しさを細にしス。()と
 して身体の心算を最善に感されず亦やまとはは同様に化粧下らんとす
 の有用品なり

用法 御手拭をまろふすより御用ひあるべし
 功効 色を白く肌をやらかに垢を落す事保証致候御用ひの
 上は功効の優りならざることを信じ御用ひを速に
 至らば發明人の幸來之に遇たるはなし



定價
小袋六十入 金拾五錢
一函 金拾五錢
小袋廿八入 金五錢
紙包 金五錢

効能用法
本能書ニ委

發明製造元 尾崎氣樂堂
 發賣代理店 東京市南茅場町
 同市橋山町二丁目
 關西代理店 京都府原田町西五ノ入
 大坂南久寶寺町

江高木新助 支店
 小海津與兵衛 支店
 田中花王 支店
 見尾善兵衛 支店
 九平 支店
 大木 支店

其他東京小間物卸賣組合各店ニテ販賣仕候
 賣御御之方ハ代理店又ハ特約店ニ御申下度相替御引仕候

特約店賣販

東京 銀座二丁目
 全 本町四丁目
 全 柳川三丁目
 全 通原三丁目
 全 山崎三丁目
 全 四町三丁目
 全 南町三丁目
 全 島田三丁目
 全 州本町三丁目

佐々木 佐兵衛
 田中 花王
 小野 善兵衛
 三井 宗七
 南 井宗七
 草野 幸七
 田立 幸七
 草野 幸七
 要太 幸七

名古屋 藤馬町六丁目
 名 藤馬町六丁目
 大 藤馬町六丁目
 大 藤馬町六丁目
 大 藤馬町六丁目
 大 藤馬町六丁目
 大 藤馬町六丁目
 大 藤馬町六丁目
 大 藤馬町六丁目



標商錄登
 CRANE BRAND
 CHICAGO
 象印商標粉の彼の米國にて世界に其名轟々たる齒科醫學博士
 「ワイルハム」氏の方劑にして當時シカゴ府に於て非常の名聲
 を博し紳士貴婦人社會に賞賛せられたる良品なるを以て這回
 弊店日本一手特約を結ぶ以て其の衛生上有効なるを以て
 くも左の諸大家の信認と証明により敢て喋々を要せず

買販手一本日
 堂筒井藤安
 店賣販油善井
 前宮天水町壳網東京

陸海軍御用 近頃非常の名高きはみかき
 米國シカゴ府 グレイド會社製

商業擴張之廣告
 弊店儀豫テ當紙上ヲ以テ廣告仕置候通去月一日新
 築家屋エ 移轉開業仕候ニ付テハ此際一大改良仕見
 本陳列場ヲ 設置シ各國ヨリ有ユル新形流行品ヲ取
 寄一目數百種ヲ 御覽ニ入御便利專一ニ仕置候間各
 位御上京之際ハ 御來店之上陳列ノ物品御一覽ニ預
 リ度左候得バ 品質之純良ト意匠之精巧且薄利勉強
 ニ販賣仕候等ノ 儀モ御會得相成候事ト奉存候間是
 非共御來臨御一覽之上多少共御注文之程偏ニ奉願
 上候敬白
 明治三十年十月一日
 東京日本橋區橫山町二丁目
 洋傘 卸商 長 鄉 商店

萩の花妻 (第四回)

其時手束殿御別れを惜み今しも逢引の緒を引継ぎ
打立たんとする和子様の父上三郎殿の鎧に取付き
手世にも孝心勝れたる御身の事に坐しませば此
度の御出陣お留り申すにはあらねども責ては此身
に宿りたる一子の産れ出るを待ち父子の對面あり
て後後出陣こそ願はしけれど女心のさすがにも
悲しき愛別にホロリと覆す一平見るより三郎
殿慈さめ給ひ 三其嘆き尤もなれど女童に心引
かされ大事の場所に出會はざれば不忠の跡り免か
れず又た二ツには父上三郎殿の刀下の鬼となり
し草葉の露の無念を晴させ申す時もし此儘
戰場に馳向ひ父の敵の首級を擧げ追付け頭切した
る上も一父子の對面せん和女は身体を大切に
し芽出度ふ産の紐を解かれ先づ夫までで離分堅
固に 手貴方も無事と相約し飽かぬ別れをなし
たるは是や此世のうさ別れ又の逢ふ瀬の絶えん
は誰か思ひ到るべき新くて愛憎も供に加はり
馬の轡を取付さつゝ急ぎ橋田の宮へ若しけるに
此處には既に入道殿阿殿手勢七十騎ばかりを引率
し社殿の前の松蔭に馬の頭を引向けて跡より續く
軍兵の參着するを待ちつゝあり今しも父上の到
るを見て歡喜を放ちて喜び給ひ 入八幡三郎が
参りし千騎二千騎の助けを得しより我身に取り
て心強し此上は片時も早く夫時が歸るを
べし未だ若さなき面々は跡より涙げと云捨て栗毛
の太く退きし馬に一鞭當て馳せんとせしにコ
如何にさしも感足の聞えありし馬は社頭の前
すくみし儘一足も前へ進み出で入道殿阿殿跡
怒り 今我此度の晴の戦に思はし此馬の振舞察
する所此社殿の神我我打を快くからず思ひ妨げ
なすと責めたりよしや如何なる神もせよ道に背
さし好巨をも罰減さんと業に依て思ひ立つたる
此出陣妨げなすべし法やあるよし夫ならば一矢

仕つらんと十三東三伏なる重慶の月矢を交へ満
月の如く引しほり社殿の扉をのけて二矢まで射
かけたるに何れも先に手苦へありて不思議な阿
殿の乗つたる馬俄かに身体をすくみ直り一聲高く
嘶くと共に疾風の如く馳出れば寂阿殿馬上に采
を振り擡げしと呼はりつゝ探題英時が鎧を望ん
で無二無三に攻登りける後に所の人其社殿に赴む
扉の内を覗きしに何時の頃よりか住ひけり二
丈ばかりの大蛇殿阿殿の鎧の爲に其身を扉に懸付
立てヒタヒと城門へ攻寄せて逆流水を退け深を
越え終に城中へ亂入しければさしもの英時施す
に術なくあはれ自殺を見えたる所へ大友小武二手
の勢其勢合して六千餘騎加勢の爲に後若し身方の
小勢を中に取込み後の方より攻立てしに英時之
に力を得て再び前より攻掛るに身方は前後に敵
を受け進退難引自由ならず見る内に百騎餘り
骸を列べて討死しければ寂阿殿今は是空で觀念
し若君武重服を傍へに招き 入我以此城を枕とし



けられ動さず死し居たりと開は後の話しな
れど事の序に申すのみ然るに探題英時は大友小武
等の注進に依つて潮池の様子を聞きつゝ斯くある
べしと期しれば向ふに見ゆる山の峯に貝鉦太鼓
の音響を流し流し風を動いて来るを見てス
ハこそ潮池が押寄せたぞ人数多勢も見えざれば
一様に流浪せと城門鎖と押開き一度にどつと切り
出でたり身方は小勢なりといへども何れも決死の
勇士英時が敵を物ともせず無頼無得に斬立て雖

て此處に討死を遂ぐべければ改は急ぎ鎧へ歸り城
を堅ふし兵を養ない我生前の恨みを晴せと厚く云
合ひる所あり若君之を許し給ひ是非と共討死
せんと誓ふて止まざりしが寂阿殿終に許し給
はず死は一旦にして易し生は難しといふなるに死
して徒らに屍を晒すより生で父の仇を討たざるか
思が者めと激ますに若君も今は争ひ難く即然數名
を引具して情々館へ立歸りぬ此時父上三郎殿も
同じく感傷を招き給ひ 三聞かると通り仕請な

Advertisement for 'Hana no Yuki' (花の雪) featuring a bottle illustration and text: 中瓶共口定價 改正金十五錢. Includes a list of prices for different bottle sizes and a small illustration of a bird.

●外賓招待會の演説

府下の重なる實業家は去る四日帝國ホテルに...

加奈太と日本との商業上の關係は是迄親密であ...

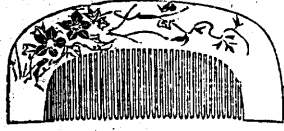
閣下諸君は今日東京商業會議所東京商工相談...

られたり是余の特に喜悅する所なり余の希望は...

加奈太は東西兩端に各大洋を控へ又内地に大湖...

現時加奈太の内閣總理大臣は佛國の出身にて最...

廣 告



會覽博念紀年五廿設創 領受牌銅賞功有

本甲臺時繪彫刻揃物櫛笄... 推朱彫揃物櫛笄兩天一貫... 各種・柳鬢糸政子形鏡形... 上等玉入簪向差長房付簪



善 小間物問屋 丸見屋善兵衛

●新製粉狀大博士稟告

(製煉) 大博士 (粉狀)

藥製



定價

三ヶ月用 金貳拾圓... 一ヶ月用 金貳拾圓... 半ヶ月用 金拾圓... 金貳圓

世に傳ふる類多しと雖も此大博士... 衛生 七徳

右特約販賣店に續々御用向之程偏に奉希上候

丸見屋善兵衛

はんとするものなり

第一製茶の事なり加奈太は製茶を需要する事合
衆國に際するに近時印度商が入り込み専ら
其販路を獨り占めたり若し諸君にして加奈太に
於て製茶の販路を維持せん事を望まざるならば
一方に於ては其製茶の品質を精進し他方に於て
は其廣告の方法を研究せざるべからず是余が諸
君に向て特に忠告する所なり

加奈太は近來日本絹布類輸入して進々其販路
擴張の見込みあり又日本の米も加奈太へ輸入せし
貴國の米は其品質良好にして大に市場の好評を
博せり蓋し加奈太は貴國にして貴國産米の餘料
を棄てて加奈太へ輸出するも猶其需用を満たし
難きの有様なり

余は貴國に來りて以來各種の事業を視察したる
が殊に織物糸紡績業の盛大なるは余の注
目を惹き此等も日加貿易の前途大に展望すべ
しと信す

加奈太は元來英國の殖民地にして百様の制度英
國に則るもの多く隨て本國たる英國との交通尤
も親密なり我は今後英國日本及加奈太間に海底
電信を通じ此の三國間に於ける商業上の關係を
して益々密接ならしめんとす

終に隨んで今回余が貴國へ來遊するに際し能勢
領事官各所に向て町奉行の紹介の勞を執られたる
事に就き特に大隈外務大臣閣下に謝し併せて各
府縣廳各商業會議所等が余の視察上充分に補助
を與へられたる事に就き茲に謝意を公表す

○京坂旅行日記(承前)

九月廿三日 午後京都に着す此日は彼岸中の事と
て西本願寺へ参詣する者多く隨て市中も賑はへ
り
廿四日 午前仙洞御門の博覽協會に至り紀念
博覽會に係る賞牌褒状等送付の模様を問合せた
るに褒賞状は目下頗る滞春中なれば出来次第夫
々へ送付の見込みなるも賞牌は明年二三月頃なら
ば出来に至るまじとの事なりし而して其滞春
中なる賞牌の雛形を見るに金牌は黄色、銀牌は
青色、銅牌は淺黄にして金牌に銀牌、銀牌に
紋及び廣告文あれども其他には地紋廣告文共に
なし(雛形は前號の紙上弊舖廣告の通り)猶褒
賞状の外出品者一般へ紀念状なるものを贈る由
にて其雛形は左の如し

紀念狀

大日本帝國京都に於ける博覽會創設廿五年
紀念の爲め博覽協會の題目を銘記し出品せ
られたるを以て茲に本會の紀念狀を贈與す
明治三十五年五月十六日
創設廿五年紀念博覽會
名譽總裁三位勳一等子爵 本 武揚
名譽副總裁三位勳一等男 山田 信道
會長 從四位 三井八郎次郎
右博覽會事務局の請る所に於ては明年も亦博覽
會開設の計畫あり又第四回商業博覽會の跡にて
は深器共進會をも催す由なり
午後親戚を訪問す
同 廿五日 京都を出發し静岡に一泊す
同 廿七日 静岡を出發歸京す (畢)

忠僕直助傳 第十四回

扱其者侍は差圖に任せて其盤を持参した
其上一布を敷て、大野九郎兵衛の自慢する小
治の一刀を引抜き、初は白布にて巻き左の手に
江守衛と押へ、右に小櫃を上げ真向にさしかさ
し、彼のシナイ球一掴ひを附る前には大野九郎兵
衛兩眼を閉き、其小櫃治へ目を附て居る様子は、
時々の胸が解をせる如き有様であります。後ろに
居る若侍は互ひに顔を見合せ、甲時に木村、
貴公は折れると思ふか折ぬと思ふか、乙時も一
打ヒヤ折さうもない、甲ナア内々開て見たら
全く近江守助直といふのは先刻拙者の申した通り、
岡島の下郎の直助ださうだ。三年あど八十右衛門
が鑢刀を己して居て元老に耻しめられた事があつ
たらう、乙然うよ、甲其時から赤穂を出て大坂へ
行て津田越前守の弟子となつて三年の内名人の
部へ入つて、京都で御降誕になつた皇子の御枕刀
を銀へてから名を揚た近江守助だもの、神佛の力で
もキツと今に三條の小櫃治を打折から見て居なさ
るに成程夫ヒヤ折たらう、どうだいアノ小櫃
治が折れた時は九郎兵衛の面はどんなだらう、阿
夫ア大變だ、何でも三條の小櫃治は二百五十兩で
中身ばかりの直打だ、平常から自慢をして居る

品だ。夫が折りやア九郎兵衛は事依ると氣絶を
するせ、甲折してやうてエナ、乙折れば宜い、
乙コレ、何と其方達は申して居るんだ、折れ
は宜いとは何だ、甲、イ、御刀の事ではございませ
ん、我々ももの少々思つた事がございます、乙思
つた事もないんだ、各々が折たら捕者が氣絶
でもすると思つて居るだらう、乙、其通り、乙
黙れ失禮な奴だ、乙九郎兵衛は頭から煙を出して
怒つて居る、若侍は平常から憎まれる者も此
いふ時にも、云はず語らず助直を助けるの心成
其申津田近江守は心中に金比羅權現を祈り、マツ
ト、いふ氣合共打下した小櫃の爲に、ボツキリ小
櫃治は遠く折た、此時九郎兵衛はウーンとい
つたが暫らく口をへ利位、遠く助直は九郎兵
衛の前に進み出で、如何で、大野様是でも研
と仰しやるか、只た一打で打折たを御覽になりま
したらうな、乙如何にも見た、甲、ア一打で折る
やうな物を平素から自慢らしく差してや歩きなさ
るは何ういふ者で、是が太平なればこそ宜けれ若
し陣輪の音に目を覺すといふ時勢には何となさる
殿の御馬前にありといへども敢て剛者の出で
たる時は是非とも夫へ向はずはなりません、其
時に一打で折るやうな物を持って居たら何の御役に
相立ます、二千石といふ大藏を頂戴しなから殿の
御役に立ぬ時は、知行盗人殺盗人畜生、犬侍と
申すは其許の事ござらうと、大音聲に罵しり辱
しめました、九郎兵衛は眞若になり俯向て居りま
したが驚て、乙近江流石は刀銀治、九郎兵衛感心
致した、就ては此腰の物が折た以上は是非一振打
て賞はねばならんが、寸法は宗近と同じ事にして
何卒念を入れて銀へて賞ひたい、眞念を入れて銀へれ
ば折るやうな事はありません、乙日數は何の位で
出来るだらう、又價は何程位掛たら宜からう、乙
左様で刀の價は私に申上させんで、出来上つた
上でか恩召にて見込込け頂きます、併し仕事が
つかへて居りますから二月や三月で出来させん
な、乙ウー、夫は困つた、何卒やり振て先へ銀で
呉れ、乙どうも先々の仕事をやり振る譯には参り

ません、九郎兵衛は來年早やうであらう、其一年
や二年では出来させん、乙ナニ一年や二年で出
来ない、シラビの位日數が掛るのだ、直左様で、
諸家様らの御注文が澤山つかへて居りますから
十四五年も掛りませうか、又都合に依れば三十
年モト延れば四五百年、千年萬年待たせて、
乙コレ先代様のははりの様な事を申すな、余々
武士を嘲弄いたす奴、勘弁ならん、乙九郎兵衛
は差添の柄へ手を懸け立上した助直は少も動か
ず、切る恩召なら切られませうと其儘前へ進む様
子、傍に見て居た岡島は余々事の破れたら、モ
此上は大野を切ん、乙是も同じく刀の柄へ手を掛
る有様に居列て居た若侍、何れも鑢立に相成まし
た、此時大石内藏の助大音聲、乙是はしたたり大
野氏如何なされしと、對手は職人ではござらんか
夫を切らうと云ふ恩召しか御場所をよく御考な
さい無禮千萬な、乙大石の言葉に若侍は思ひ、
乙、是はしたたり大野氏御役柄にも御似合なさ
ん御抑なさい、乙後から袖を持って引ものもあり
中には袴の裾をよんで能く九郎兵衛を倒すもあり
、其中何處から手が出るか大野の頭をボツキ、殿
の奴もある、大石は早くも岡島に指圖をして、乙
助直と申す者は餘程取逆て居るやうに見える、其
方へ引渡すから早やう下たら宜しからう、乙大石の
目配せに岡島は大きに喜び其儘助直を引逆て御城
内を下りました、跡は大石内藏の助、九郎兵衛に
對し、悉く疎忽の意見を加へました、扱岡島八十
右衛門は我屋へ連歸りし助直に厚く禮を致しまし
た、此時に直助も是までの胸の雲霧も一時に晴し
思ひにて岡島御夫婦に交ての物贈り、其後長
く赤穂に滞在するも却て後難の恐れもあると八十
右衛門の心を察し供の者を連れて其儘直助は再び大
坂へ歸された、扱近江守助直、越前守助直、推參の
鑢以後に元祿十五年十二月十四日吉良殿へ推參の
時殊の外役に相立り、岡島氏の名前の殘された
るもの全く忠僕直助の志しにございませう、然れば
是を忠僕の一先切先の鑢と申す、岡島八十右衛門
忠僕直助の傳、是にて結局といたします (大尾)

海外貿易獎勵に關する意見

左の一篇は在倫敦駐在領事より此程其筋一達したるものなり
英國が世界第一の商業國たるは何人も知る所にし
て其首府なる倫敦は人口五百萬に達し且國內各
地方の製造家は勿論東西各國の主なる商工業者
皆此地に支店又は代理店を有し全世界を相手にし
て商業を營み日々取引の金額は其幾千萬なるを
知らず本邦の商店も横濱正金銀行、三井物産會社、
日本郵船會社、東京海上保險會社、高田商會、
大倉組、内外物産貿易會社等皆此地に支店を設
け相應の營業をなせり然るに右七會社の中正金銀
行、郵船會社、海上保險會社は直接物品の取引を
營むものに非ざるを以て之を指す他の四會社
に付て見るに本邦の物産を當國に輸入すること
甚だ少なく専ら本邦の需要者や當國の製造家との
間に立ち輸出貿易の手續料を收むるを以て主なる
業務となせるが如し本官は十年以前當國に在
る輸出物品に關しては常に注意を怠らざりしが
當時と今日とを比して之を觀るに勿論價金收購の
結果として軍備擴張、鐵道、水利、築港其他朝野
の事業一時に勃興したるが爲め當國より本邦への
輸出は日清戰爭後依然増加したりと雖も當國へ輸
入の本邦物産は別に著しき進歩を見ず商店の増加
したるものは僅に内外物産貿易會社の一あるの
みにて其外には本邦商人の數を増さざるは頗る遺
憾とする所なり
十數年來農商務省に於て或は我國産を各地の領事
館に送りて其地に於ける品評價格等を取調べしめ
或は本邦輸出品の運賃荷造法等を調査し或は特に
吏員を派して歐米諸國に於ける商工業の實際を視
察せしめ或は重要輸出品に對し年々定額補助金
を付する等種々獎勵扶助の勞を執りたることは
世人の皆知する所にして多少の結果を見たるべ
きは敢て疑ふ所にあらずと雖も倫敦に於ける本邦
物産輸入貿易の十年前に比して左したる進歩を見

ざることは抑も其故無くばあらず倫敦が世界百
貨集散の中心にして各國の物産は何品に於らず其
市場に現はれざるもの殆んど之れ無きことば言新
らしき言ふ迄も無きことなり本邦輸入貿易の如き
も苟も商業上の機關を整頓し商工業者其人を得
物産の製造其宜しきに適せば數年ならずして著
しき發達を見るべきは茲に斷言して憚らざる所
なり然るに此三者に欠點あるが爲め我外國貿易は
十分の發達をなすを得ず
第一、商業機關の不整頓
今や當市には日本の
銀行あり日本の定期航船あり又日本の保險會社
あり貿易の機關は小仕掛ながら一通り整頓せるも
の、如し然れども猶ほ一の欠點は本邦商人の當地
に支店又は代理店を有するもの少なきことなり抑も
我直接輸入貿易の主眼とする所は各開港場にある
外商の手を經ず直接我商人と外商の商人と取
引するにありて即ち夫の橫濱神戸等にあるコミ
ッション、マーチャントの利益を奪ふにあり若し
之を誤解して在本邦の商工業者自己の帳場に安
坐し一片の電信又は書狀を發して數千里を隔てた
る倫敦の需用者と直接取引をなすことなりと思ふ
ものならば其人は實に商賣の實際を知らざる者に
して到底外國貿易に従事する資格なきものと言は
ざるを得ず然るに我商工業者中には往々斯の如き
誤解をなす者ありて其結果は自然農商務省又は領
事館に依頼して取引契約の要件、代價仕拂の方法
等に關する掛合をなさんとするに至る斯く迄無理
に暗き商人は雖令ひ一旦取引の道を開くに至るも
到底永續すること能はざるべし確實なる基礎を有
し眞面目に外國直接貿易に従事せんとする者の支
店又は代理店を設くること第一の急務ならん
第二、商工業者其人を得ず
日本商人は概して
通信能力に乏しき事
營業の盛衰は資本の多少
信用の確否に因ること大なりと雖も商人其人の技
量も亦實に一大要素なり我商人の知識才能經驗等
之を國內の商業に用ひて十分なりとするも一旦外
國貿易に従事せんとするに至りては未だ以て十分

Advertisement for '元祖' (Genzo) tooth powder, '小町水' (Kochimizu) water, and '平尾贊平' (Hiraozanpei) products. Includes images of the products and text describing their quality and availability.

Advertisement for '花の御粉' (Hana no Gocho) and '花の石' (Hana no Ishi) products. Features a central image of a woman and detailed pricing information for various sizes and quantities.

なりと云ふを得ざるものあり其は外國貿易には更に外國語の知識を要すればなり日本商人の外國語の熱心は近年全く冷却したりと云ふは或は過言なるや知らずと雖も其も其外國人自由の對面通信し得るものは甚だ僅少なりと思ふ開港場の商人中には商賣上の會話には不自由を感ぜざるものあるも往復の書狀を認り得るものは頗る少なからん偶々中學校や地方の商業學校等の卒業生を備ひて通信文を認りしむるものあれば取引上の往復に堂々たる大議論を書して人をして屈し抱腹絶倒せしむることあり例へば「日清戦争後の日本は一躍して世界強國の仲間に入り商工業上は於ても方に勃興の時代に在り」と云ふと云ふが如き文句を其儘に直譯して書狀の冒頭に添するもの少なからず折角學校にて勉強したる外國語學之を實用するに當りて右の如き奇態を演ずるに至りては何の益にも立ざるべし非難するに學校に於て實用に迂遠なる文學書や史論や政治論の如きものを以て教科書とせる弊と云はざるべからず要するに或者は全く外國語の知識無く偶々之あるものは商業上の實用に達せざるものあり斯の如くは外國貿易の發達は到底望み得べからざるなり

本邦商工業者之不徳なる事 英國商工業者が世界の市場に横行邁進して事實上各地の商權を掌握するの有機なるは種々の原因あるべしと雖も英國人の特性として公平明白を好むの性質は亦與て大に力ありと云はざるべからず公明正大の競争が商品の改良價格の維持隨て販路の擴張に及びす利益の如何に大なるかは人の秘密を窺ふ人の得意を揚し買主の眼を掠むるを以て財利の奥意と心得居る卑劣なる商工業者等の進も理解し得ざる所なり

り得て米國に於て一旦頗る繁昌したる我商店の失敗したる始末を聞くに種々の原因ありたるは勿論なれども其として注意すべきは此商店は高額の給料を拂ひて製菓家を備ひ置き其苦心して目論見たる意匠を本邦製造家に示して或期限内に製造することを約したり茲に競争者ありて右の

製造家に至り若し自分の爲めに右の意匠に基き製造し先きの依頼者の分は許を設けて後廻しとなせば一個に付き若干銀づゝ高價を買収すべしと談判せしかば製造家は一も二もなく之に應じたるを以て折角新奇なる意匠を案出したる注文者の分は遙に季節に後れて出来上り不正なる競争者の分は正に好時機に遭遇したる爲め先きの商店は非常の損失をなしたりと云ふ當時は素より意匠の保護充分ならざりしによるべけれども此の如き破産なる製造家又は商人の多き間は到底我外國貿易の健全なる發達を見ること能はざるべし貿易不振の原因にして物質的のものは熱心除却に従事せば其年々ならずして満足なる結果を得べしと雖も斯る人心内部の病根に至りては人をして殆んど七を投じて絶望せしめんとす

本邦の商工業者は資本に乏しき事 歐米諸國と本邦とを比較して資本の多寡實に非常の差あることは勿論なりと雖も茲に注意すべきは同一の資本も其集中と分散とによりて大に効力を異にするの點にあり歐米諸國に於て今日の如き商工業の發達を見るに至りたるは或點より言へば株式會社の賜といふも過言にあらざるは言新らしくいふ迄も無き所なり本邦の資本家にして今少し協同一致の思想に富まば我現在の資本商を以て歐米の商工業と競争するとは甚だ難きにあらざるべし

我小資本の商工業者が開港場に在る外商に困めらるゝ事情を聞くに此等の外商は大抵皆本邦商人又は製造家の運轉せる資本の概領用職工の數を採知し隨て其供給し得べき商品は概ね幾何の數量なるかを兼て推知し置き扱て實際製造を委託するに當りては商品の見本を送り彼等の實際供給し得べき萬の倍數を注文し又は商品引渡期限を故意に短くするなり然るときは我製造家は注文を取違すを惜しむの餘り期限内に自ら製造し能はざることは熟知しつゝ其注文を引受くるなり

(未完)

品質善良ナルヲ以テ第三回五一會品評優會賞受拜賞

本品は化學作用により多年實驗して好成績を得たるに依り一層原料の品質を選擇して精製したるものなれば從來世に行はるる普通歯粉と其質を異にして香氣郁鬱として口中の汚物と臭氣を去り齒を雪白健全な世界無比を思ふる無きと疑はざるは是れ本品の特効なり江都の諸君御試用一切の病高評あらんとす

東京市日本橋區山下町三丁目一番地
白光散本店 三橋喜次郎製

代理店約
東京市日本橋區山下町一丁目 天野源七
同馬場町一丁目 平尾贊平
同橋本町四丁目 丸見屋善兵衛
同通町三丁目 山田篤三
同神田區板橋町 武井龍三
同全區至る所の小間物店及び藥店に販賣所あり

目下三町山橋京東 製議郎次喜光橋三

二拾諸別〇小全箱 袋
五十十製〇六小大入
錢錢錢 瓶〇錢 錢 錢

透明おしろいの元祖

本品の外何れも偽物につき 追求の節注意願上候

發賣元 東京市京橋區山下町一番地 金牡丹

特約店 東京市 小間物問屋各店

三橋喜次郎製

代理店約
東京市日本橋區山下町一丁目 天野源七
同馬場町一丁目 平尾贊平
同橋本町四丁目 丸見屋善兵衛
同通町三丁目 山田篤三
同神田區板橋町 武井龍三
同全區至る所の小間物店及び藥店に販賣所あり

鹿印煉齒磨

良質佳味ニシテ衛生上 最効能アリ使用後精神ノ爽快ナルハ本品ノ特色ナリ

東京市馬場町二丁目電話花九三三三
花王石鹼本舖 長瀬富郎

發賣元

東京市日本橋區山下町一丁目 天野源七
同馬場町一丁目 平尾贊平
同橋本町四丁目 丸見屋善兵衛
同通町三丁目 山田篤三
同神田區板橋町 武井龍三
同全區至る所の小間物店及び藥店に販賣所あり

類無國諸 商標 高等化粧

リアニ處ル到國全ハ店捌賣大

又古志トハ

近代世事談(抄録) 菊岡 沾涼

天正のころ、堺の商人納屋助右衛門と云者、小珠にわたり呂宋に至り、文祿三年に本朝へ歸る、時に藥蓋五十個、蠟燭各々千挺、活版書の版二丁等を秀吉公へ献ず、數千金を賜ふ、是れ奉の波る始りなり、此形を以て日本之を作る、或書に平宗盛は奉工の子と書けり、是不審

文祿年中までは日本に蠟燭なし、助右衛門が献する所の蠟燭に倣ふて之を製す、蠟を採るもの凡そ五種あり、漆樹、荏桐、樟、マノ木、烏臼木、また女貞木より取るに本草にあり、雍州府志に云、黃白の蠟、蓋の底に凝滯するものを取て蠟とす唐蠟燭は、眞に致を用ひて折として立消のあるものなり、本朝の人これを考へ、燈心を巻て眞とす、甚だ上品なり、むかしは軍用に用ひたるを明を、常なる夜も用ひたり、年中行事を書たるむかしの繪に、大晦日のけしきに、掛取の帳を持たる人に、松明を持せり、今是をともふに不自由にも亦不用心の事にこそ、有難き世とはなりぬ

● 仰願寺蠟燭

江戸山谷座の仰願寺の開祖、仰願上人の起す所なり、別時念佛を修せらるゝの時内佛のちりさきに蠟燭の大きなるはむづらはしく、又小さきは事しげし、よつて細くすられて、長き蠟燭を作らしむ、今に至つて持佛堂のらうそく専ら之を用ひ

● 珍話 樂牽頭

作者不詳

いがみの權を來て居る息子、夜更てかへり、火もさへてまつくらやみ、親父のあたまにけつまつき、ハハ勿体ないといふ聲、母聞つけ、コレおやぢぢの、この息子もこのが直つたか、こなたのわたまへけつまつき、勿体ないといひました、息

子聞きて「ナアニおらめしつぎがと思つた

去序大名、いかなる福神の末葉にや、大判小判に満ち、金なき者のおもひにや、毎夜金の精の光り渡るを、殿の御目にとり、眼金の仕業よな、いそぎ金の減やうな工夫せよとの仰付、御出入の山師申上る様は、長崎街道に廣根の松と申すがござりませ、是を數萬の人数を召連、一銀一兩づつにて掘らせましたら、いかなる金も減りませう、役人共横手を打ち、早々申付る、初かの松を段々掘つて見た處が、石のからうと、是はふしぎと蓋を明ければ、中に打出の小槌、金銀湧出ること山師のこゝし、山師の体を見て、直に欠落

● 喜世留

させる三千本急御用、明朝までに持参仕つれどの仰せつけ、サア家内は勿論素人までに手傳はせ、一夜に長らう三千本すげ仕舞、夜明時でもらうと納めに行き、ぶと氣が付き、此させる出来は出来たが、らうの節を通さなんだ、ア、ま、のかはど役所へ納める、折節をこぢ悪い役人受取に出るさせる屋の心の中はひやくもの、やがて役人させるの数をあらため、かん首へ親指をさしあて、吹て見てよし

● 灸

こし元旦那に灸をすへ、たび／＼落すも、旦那にしたられ次の間へ來り、お春どのわたしが替りに行くてんなせへ、さうなさいしわい旦那だ、たび／＼落すからすへるなど、一かわらけ際して高が四文だ

● 禿

深川の假宅にて女郎をよぶ、アイ、ハ、ハ、ハ、と云ひながら傍まで來て又戻る、そばから客、千鳥はなせるる「返事があまらんす

● 契約

御廣間にて、小性同兄弟分の言かばせに、たがひの小指を切し折ふし、殿より召召と聲をかけられ血はいづみの如くながれ出る、かづと思ひだした、ぼんのくらの毛を三本ぬきたまへ

KOTOSAN 比靈國萬 高等散

本品は化學作用により多年實驗して母成能を得たるに依り一層原料の良質を撰擇して精製したるものなり從來世に行はるる普通齒磨と其質を異にして香氣微郁として口中の汚物と臭氣を去り齒齲を雪白健全な世界無比に使用すると齒齲腐れ齒齲を治し總て口中一切の病を患ふる無きと疑なし是れ本品の特効なり江湖の諸薬續々洗試用の上野高野あらんことを乞

製造本舖 小間物問屋 天野源七

醫學士稻生悌先生新方 驗石らくさ 驗石蜜蜂

各石驗製造元 澤井 栖蝦 特約大販賣 天野源七

色もよし 香もよし 價もよし 評判もよし 洗いもよし 拭きもよし 洗いもよし 拭きもよし 洗いもよし 拭きもよし

あねのぶのぶ 標商録登

十一月一日ヨリ直上ニ相成候間豫告申上置候



● 狂歌

月前様

かじ清み月に調ふる傾城の... 狂歌の今宵や琴を調ふらむ... 水玉のかみさしとみる月影の... 云よりし雨の夜よりは月にこそ... 此儘に千代もあつたし照月の... 植木が枯ぬといへる贈合に... 月の影さすかによりの面白く... 幸崎の松のひと木も年よりて... 老なる月をりつれば座敷へも... 徒らに月かげのみはまみにけり... さえわたる月に露のます鏡... 秋の夜もや武隈の松ふた木... ひどきは清き月を照そよ

- 壁の屋 萩園秋樂 柳の屋 繪馬屋 自然庵 千種庵 小松園 宇治の舎 不二の屋 彌生庵 丁子園 秋の屋

● 縮屋殺し歌へ唄 本報 矢崎萬的... 一ツとせ 人の上位の軍人が... の人殺し。其名は一政米吉よ... ニツとせ 二ツなき身を縮屋が... 三ツとせ 身分かまはず借つくし... 四ツとせ 除積なく高田へ連れ出し... 五ツとせ 一つにも變りし舞動に... 寄と聞かれど。一政少しも知らぬ顔

六ツとせ 無念縮屋傳兵衛が... 七ツとせ 名に負ふ刑事の盡力... 八ツとせ 役は歩兵の曹長で... 九ツとせ 殺した証據が皆あがり... 十ツとせ どの詰りは軍法の... 狂詩 陸時飲仙會課題... 獨身者 骨皮道人... 香元 煎餅布團 柏餅眠... 其二 香気元來限獨身... 其三 家事悉皆勤一身... 其六 俳諧師

● 口上茶番人物競 私しは俳諧師と申お題で浮坐り... 其六 俳諧師

● 口上茶番人物競 私しは俳諧師と申お題で浮坐り... 其六 俳諧師

Advertisement for '美玉水白粉' (Beauty Water) and '三橋喜次郎' (Sanhashi Kiyosaburo). Includes images of product bottles and text describing their quality and availability at various department stores.

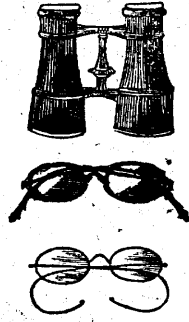
Advertisement for '懐中電燈' (Pocket Light) and '石鹼大王' (Soda King). Features an image of a pocket light and text promoting its portability and effectiveness, along with medical information from the University of Tokyo.

告

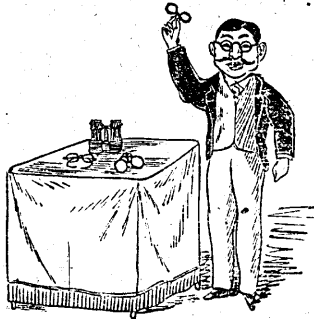
各地御花主様愈々御盛榮之段奉賀候隨テ弊店義日増ニ隆盛ニ趣キ候段偏ニ御花主様之御引立ト奉深謝候借テ從來各位御仕入ノ爲メ御出京御滞在中其旅館へ商品ノ見本ヲ携帶シ店員ヲ差出し居リ候處右ニテ承知ノ通り數種ノ物品ニテ到底充分ニ御満足願ハレ兼候ト愚考仕リ候依テ今回改良致シ拙店內ニ商品ノ見本陳列場ヲ設置シ數百種ノ物品ヲ一見御撰定相成り易キ様御便利ニ出來仕リ居リ候間何卒出京ノ都度御繰合セテ尊來被下御一覽ノ上續々御注文ノ程奉願候

各地御得意様御中

尾張屋商店 店主敬白



眼鏡類 製造販賣大擴張に就



販賣品課目
和洋眼鏡一式
兩眼鏡
望遠鏡
磁石寒暖計類
諸宗用珠數
硝子玉各種

問屋
目三町山横市京東
郎次榮屋張尾

弊店販賣之諸品ハ何レモ品質ノ精良ヲ旨トシ就中兩眼鏡、望遠鏡、舶來眼鏡、寒暖計之類ハ内地向新形ヲ撰ビ歐米へ特約シ向内地製眼鏡ハ精巧手練ノ職工ヲ以テ確實ナル物品ヲ製シ精々薄利ヲ極メ廉價ヲ主トシテ販賣仕リ候間續々御注文ヲ乞フ

小僧 七八名募集ス



諸君、近年は御老人のみに限らず壯年の御方でも御婦人方でも皆眼鏡を掛けに成ります。即ち風が吹けば眼鏡を以て往來の埃を除け雪が降れば色眼鏡を以て是が反射を防ぎ或は學生諸君の讀書にも眼鏡を用ひて近視を豫防し或は近視の人も適度の眼鏡に因て其自由を得るなど何に就けても眼鏡の必要を感じて來たと云ふものは蓋し醫學上の進歩に伴ひ世の人の目が大切なる事を知て參られた結果と云はねばなりません。ソレで斯様に眼鏡の御需用者が日に増加するを知りながら肝心な其供給者たる眼鏡問屋が何處を風が吹くかと思はれ、眼鏡でも居られせぬ。多分弊店は早くも茲に目を向け方の及ぶ限りは大變強大奮發を以て多年眼鏡類の製造及び販賣に従事して居ります。幸ひ全國各御得意様方のお眼鏡にも叶ひ眼鏡類は何でも製造元祖の尾張屋に眼を凝らす。此大變だとの御評判實に有難い事。御坐ります。依て其御禮旁々今度益々業務擴張の爲め從來に幾層倍の輪をかけて時々流行の眼鏡を始め彼の軍用、銃鏡に必要なる眼鏡鏡其他遠視鏡、脚鏡等に至るまで品位も直ぐも上中下を取揃へ而して四出眼鏡はチャンと度に適合し格別ソフト度外れと云ふやうに堅く着實御切に御取引を致しませすれば何卒此上ながらお目に掛られ御引立の程を偏に願ひ奉ります。

元祖 知らば ねりすえ

本品化粧料にして其名の如くはだの荒も華を知らず。しよやけ等に奇功ある行征消軍人諸君より御懇篤なる禮狀を贈られしは特に弊店の名譽とするの所なり。本品の定價は一錢と二錢

●賣捌上御便利の爲め五百個以上御尊名を書加申候
●東京小間物御商組合各店に於て特約御買致候間便宜御注文被
●製造本舖
●東京市日本橋區區町三丁目一番地化粧品專賣店
●若葉屋兼吉

貓印商標
麝香石
眞正眞麝香
入香



東京横山町二丁目 田中花王堂廣告

定價
一號 二十五錢
二號 十五錢
御買
一四七十五錢
二四十五錢

化粧器種石麝問屋 山田篤三謹製

東京市日本橋區通塩町五番地

此麝のつらぶの効能ハ
あまびのそよよす。あまびのそよよす。あまびのそよよす。
あまびのそよよす。あまびのそよよす。あまびのそよよす。
あまびのそよよす。あまびのそよよす。あまびのそよよす。

氏田山 高標



元 西 洋 花 花 祖 價 格 低 廉 賣 方 最 多 數 子 ル ハ 乙 女 肌 也



の直上仕候間何卒御聞濟被成下度併て奉願候也願首
●前々號五分以上一割以下ノ八字ハ二箱ニ付二錢宛ノ七字ノ誤植ニ付改正ス
●全國無限ノ和洋小問物賣藥店ニ販賣致候

追日冷氣相催候處全國各御得意様益々御盛榮奉欣賀候倍乙女肌の儀昨冬
は諸國注文一時に相成且原料切迫之爲め御販賣の
御間を欠き一處幾重にも御詫申上候本年は右
等の弊害無之様豫め原料製産地と直接特
約締結致置候得決して昨冬の如き不問
に合等の患無之
候間不相變御愛
願御引立被成下
度偏に奉願候也
猶同品昨冬以來
原料非常に騰貴
致候故既に御直
上申出べく心得之處其内には下落致す哉
も難斗存じ見合居候處其後追々騰貴致候
て如何とも方法無之此際品質を落すも不本意
に候間無據來十一月一日ヨリ一箱ニ付二錢宛

品質純良芳香馥郁ナルハ乙女肌也 全國一手發賣元 東京山崎町二丁目 田中花王堂



意匠 漸新 玉手箱后餘
●定價一個十二錢●卸賣一打二百九十錢五打以上八十五錢拾打八
●見本御入用ノ向
●郵券拾錢ヲ要ス
此玉手箱石鹼は弊舖發賣の男女白色劑ヲ
キリソ水ヲ以テ精煉なしたる品なれば有
効無害なるは勿論殊に五十打に對するは有
美術金製の箱に二百個の劑を以テ石
鹼中に打込有之バ使用の節右福神を得る
を疑したるの石鹼にして品質價格共に宗
備なる古今未有の品なれば云ふ最も注意
東京日本橋區
東京山崎町二丁目
東京小問物卸商組合中
田中花王堂
發賣店

東京小問物卸商組合各店
發賣本舖 天野源七
池田松葉軒
東京山崎町二丁目



大販賣 天野源七
東京小問物卸各商店にあり

イリス粉石鹼發賣廣告
粉名をイリス粉ニシテ多年ノ經驗ニ依テ製造セシ化
粧洗劑ニシテ日本歐米諸國ニテ専ラ採用セラレ
ルニ至リ品質ノ善良ト香氣ノ佳快ナル他製品ノ
及テ所ニアラズ加フルニ藥品配合ノ宜キヲ以テ常
用トセバ最モ皮膚ノ艶麗ヲ保全ス
又容器ハ輕便ナルガ故ニ旅行携帶ニ尤モ適ス
意匠登錄出願中

明治三十五年五月十五日

東京新聞



譯報

米國萬國博覽會條例(承前)

千八百九十六年六月十日裁可

- 一 前記免稅の特典を全ふせんか爲め博覽會送りの各包貨には外國貨主をして所屬國家の旗章を表する一枚若しくは數枚の貼札を貼附せしむ可し
- 二 右貼札は大抵縦八「インチ」横十二「インチ」位の大さにして上に分明なる黒字を以て「オマハ博覽會」と横記す可し
- 三 包貨には總て左の如く明白に記號を附す可し
 - 一「オマハ税關鑑定官」
 - 二「オマハ」
 - 三「オマハ」
 - 四「オマハ」
- 四 第一到着港の荷受人若しくは代務人の姓名、四船積標記及番號、五出品人の姓名住所
- 五 各出品物には二通の送券を附し右券面には出品者の姓名、包貨の標記、番號及其包貨物の明細及量販及生産國に於ける各種貨物の市價の明細を記入すべし
- 六 右送券には出品人自ら署名す可し其他の証明は之を要せず
- 七 二通の送券中一通はオマハ市税關の鑑定官に宛て他の一通は第一到着の荷受人に宛て郵送す可し
- 八 總て博覽會向けの包貨は第一到着港に於て輸入船積よりオマハ市の保稅貨物輸送線路に包貨を轉輸することを干渉ある稅關事務從事の代務人若しくは送達人若しくは委員に荷受せしむるを便なりとす
- 九 保稅品取扱會社の社名録は諸到着港稅關の稅關長より付與す可し
- 十 諸貨物は評價未評價品の保稅運送に任する會社に依りてオマハに運搬し以て當初申告の輸入港に於ける出品物の検査及評價を省略することを得
- 十一 第一到着港の物品荷受人は船積證書及大藏省特定形式に従ひて調製したる申告書二通を添へ(前記送券を稅關に提供す可し)
- 十二 右申告書には送券通り外國積込入若しくは貨主の姓名、輸入船積の名稱及包貨の標記、番號及び包貨物の性質と其外國價格との明細を記載す可し
- 十三 右申告書はオマハに至る該貨物運搬の保稅線路を明示し且つ荷受人の自ら署名するを要す其他の明示し之を要せず
- 十四 雜多の積送品を申告書一通中に合記するを許さず從前の博覽會に於ては此手續を用ひたるも實に煩雜の起因たることを証したり因て一申告書毎に一委託出品物を記載すべし
- 十五 諸貨物は申告書提供の際オマハ税關鑑定官に委託す可し申告書提供の際關稅の算定を爲すを要せずと雖も運送會社保稅券面の課稅價格は送券價格の二倍たるべし
- 十六 稅關長は右手續完了の上輸入船積よりオマハ市の保稅鐵道に貨物を轉送するの許可を表する爲め「オマハ博覽會」の文字を記する特許券を付與す可し
- 十七 右申告書一通は關内に保管し置き他の一通は送券を添へオマハ税關鑑定官に向け郵送すべし
- 十八 該特許券は代務人若しくは荷受人より輸入船積内の監更に持参す可し右監更は之に由り該貨物を稅關官吏の監督下に於て運送會社に交付せんか爲り官許の車夫をして運搬せしむ可し
- 十九 荷受人は又た貨物の明細書を調製し確証の上之を右貨物積込貨車に渡し又其第一通をオマハ税關鑑定官に郵送す可し
- 二十 此等物品積込の貨車オマハの上の鐵道會社の車掌若しくは代務人より稅關當該官吏に右明細書を提出し其受取りを通知す可し
- 二十一 當該官吏之を受け取る時は豫て郵送の寫と對照し且つ貨車の開扉を監督し乍ら標記及番號に由りて明細書面と包貨との間に相違なきや否を査察す可し
- 二十二 以上の規則は隣境の外國より博覽會に送付する貨物にも適用すべし之に於て加奈太若しくは墨西哥より博覽會向け運送貨車を以て運送する物品は總て領事の證明を経たる上外國積込入より直りオマハ税關鑑定官に荷受せしむ可し
- 二十三 博覽會開設の爲め區畫したる建物及び地域は「保稅倉庫及庭地」と定め總て其内に安置し稅關官吏の監督を受ける外國物品及同會へ陳列の爲め特に輸入したる外國品は保稅商品同様に之を取扱ふべし
- 二十四 此等貨物の送入に付きオマハに於て倉入申告書を納付する手續は之を要せざれども右貨物は保稅倉庫内の商品管理に關する一般の規則に従ひ稅關監督の下に置く可きものとす
- 二十五 十一「フランス」及び世界博覽會開設に付き該會の制定したる本特別條例に依り其開會期中出品物の賣却は之を許可すと雖も其引渡は同會開會の際迄延期す可きものとす
- 二十六 右引渡延期の制限を履行すべきことと雖も地方警察の支配を受け出品物保護の責任を有する博覽會當事の掌任に属すものなり
- 二十七 鑑定官に於て出品中の商品に對する關稅を預收したる時は返稅輸出に必要なる監視を爲すの外右出品物を以て稅關支配の外に解放したるものと見做す可し
- 二十八 總て輸出せらる可き貨物は博覽會開會と共に瀬海若しくは管外の港灣に向け保稅輸送を爲し追て特別規則の發布を以て改定す可し保稅直輸出品に關する一般の規則に従ひ其地より輸出す可し
- 二十九 出品者の輸入商品にして出品物との陳列したる上に尙ほ剩餘あるときは其剩餘分は納稅若しくは輸出の正式申告を爲す迄輸入者の費用を以て稅關倉庫内に積置可し
- 三十 右條例に據り倉入したる商品にして若し博覽會場内に移置するの目的を以て倉出したる場合に於ては第一申告港到着の際に於ける申告書面に依りて之を取扱ひ其關稅を納むるを要す但し此等の商品は稅關官吏の處理に由り博覽會場にて交付すべし
- 三十一 出品者が出品物として用ゆる數量を超えて輸入し其費用を以て倉入したる商品は關稅及雜費納入の上隨時消費の爲め倉出しするを得此種納稅貨物は鑑定官の保管内に在る限りは何時たり其輸出するを得此等輸出包貨より徵收したる税金の額五十弗以上に達する場合は於ては既納金額より百分の一を控除し其餘を拂還すべし關稅を納めずして輸出申告を爲す出品物は評價に付するを要せず
- 三十二 演劇座主若しくは其支配人の一時會場内に興行せんが爲め運送し來る物品は關稅法第五百九十章の規定に基き輸入後六箇月内に輸出すべし確實の証書を納付し無稅を以て輸入することを得
- 三十三 合衆國が博覽會出品物として輸入せられたる商品の損失、毀滅若しくは毀害に對し或は此等商品の運搬、監督若しくは取扱に就て生ずる負債、契約若しくは費用に對し何等の責任を負ふべきことと明かに之を了知するを要す
- 三十四 千八百九十六年六月十日の本條例に據りて輸入する商品に關する申告書、送券、特許券、摘要書、報告書等總て各別に調製し「オマハ」フランス「フランス」及び世界博覽會の文字を印す可し
- 三十五 博覽會閉會の際消費、運搬若しくは輸出の爲めにする出品物の撤去に關する附屬特別規則は追て制定す可し
- 三十六 此等の規則に依りて許可する特典は單にオマハ、フランス、フランス、フランス及び世界博覽會出品者の利益を計り且つ實行し得る限り商品輸入に關する稅關事務上の延滞煩勞を軽減するの旨意を以て付與するものなり
- 三十七 合衆國の關稅法律を逃れんが爲めに此等の規則を利用するの行爲を犯す者は同法律の規定に基き貨物沒收、罰金、禁錮等の刑罰に處せらるべし

大正代理 ワイック

廣告料(五號活字廿二字體一行三回定一圓拾貳)
 發行所 東京小問物卸商組合事務所
 電話四回以上六回定額 電話四回以上拾貳

五二會録事

第二回全國五二會品評會補助費の件に付五二會東京本部々長外三十九名より東京市參事會へ差出たる請願書左の如し

第二回全國五二會品評會補助費之儀に付請願

去明治廿七年ヲ以テ織物、陶磁器、金屬器、漆器、製紙、紙製品、敷物類、雜貨ノ全國七種營業者一團ト爲リ五二會ナルモノヲ組織シテ以來今右ノ七種以外殆ト工藝品ノ全部ヲ舉ケテ同會ニ加シテ商工業者ノ一大團體ト爲レルハ世人ノ己ニ認識セル所抑同會ノ趣旨トセル所ハ一面工藝製作ノ改良進歩ヲ企畫シ又一面ニ其販路擴張ノ方針ヲ一定シ確乎タル組織機關ノ下ニ時世相當ノ利益ヲ收ムルノ精神ニ外ナラズ爾來全國各地ニ五二會本部ヲ設置スルモノ百廿餘ヶ所ノ多キニ達シ若シ其効果ヲ奏シ来リ或ハ貿易上ノ機關トシテ銀行ヲ設ケ會社ヲ興シ取扱所ヲ創置スルナト五二會ヨリ貽タル諸設置少シトセシ面シテ之ト同時ニ商品トシテノ諸工藝品ヲ正査シ物品ノ改良ヲ促進スルト共ニ販路ノ擴張ヲ圖ランカ爲メ一昨年來各府縣ニ五二會品評會ナルモノヲ開催シ次々昨廿九年

致候處其結果頗ル良好ニシテ出品ノ數販賣ノ高第回國內勸業博覽會ヲ凌駕シ而カモ之ガ爲メニ間接ノ利益ヲ得タルヲ枚擧シテ尤モ五二會品評會ナルモノノ從來ノ博覽會共進會ト其觀ヲ同クシテ其旨趣ハ全然ノ異ナリ即チ出品者ノ資格ノ如キ平常ノ商工業上ニ於ケル風氣ヲ重シ出品物ノ如キモ常ニ商品トシテ販路ヲ重シ得ルベキモノニ限リ同會ニ依リテ販路擴張ノ實ヲ全フスベキ目的ヲ具有スルモノヲ選ビ其審査ノ如キモ此方針ノ下ニ其精粗適否ヲ詳査スルノ精神ニ有之若シ其效果ヲ奏スルモノ決シテ偶然ニアラズト存候

其的ノ業務ニシテ營利ノ目的ニモ無之候得者何分此多額ノ負担ヲ爲スニ誠ニ當惑ノ次第且々各府縣ノ狀況ヲ調査候ニ愛知縣神戶縣ノ諸縣ニ品評會ヲ開催スルハ如キ又京都市ニ全國品評會ヲ開催セル上ニ相當ノ補助金ヲ下テ場所建築物ノ無代價ヨリ金五千圓ノ補助ヲ爲スベキ處ニモ有之其他昨年來各府縣ニ實業大會ヲ開催スル所ノ如キ何レモ是等ノ補助ヲ爲サザルナク現ニ隣縣神奈川ニ於テ來ル十一月實業大會ヲ橫濱市ニ開催スルカ爲メ同縣會ヨリ金五百圓補助セル等先例頗ル多ク殊ニ五二會ノ趣意ハ天聽ニ達シ昨年中央本部へ金圓下賜ノ恩命ヲ蒙リタルハ會員ノ肝銘忘ル、能ハサル所斯ル由緒モ有之且ツハ同品評會ハ本市ノ爲メニ巨大ノ利益ヲ相起シ候儀ニ付何等特殊ノ御詮議ニ依リ本市ヨリ金二萬圓同品評會へ御補助相成候様懇願度我等各部多數ノ會員ヲ代表シ該品評會設計書相添此段奉請願候也

Table with columns for various departments and their respective financial records. Includes items like '全會製器部理事', '全會製紙部理事', etc., with associated names and amounts.

金百圓	郵便電信印紙料	金五百圓	紙簿及筆墨紙費
金百圓	諸印刷費	金五百圓	炭油茶其他消耗代
金百圓	名譽掛員辨當代	金五百圓	入場券掛員辨當代
金百圓	入場券掛員辨當代	金五百圓	特別入場券式千枚全上壹枚
金百圓	出品人用鑑札參千枚全上壹枚	金五百圓	出費
金百圓	消防費	金五百圓	醫務局費
金百圓	入場券賣捌人給料	金五百圓	發會式褒賞授與式閉會式雜費
金百圓	廣告諸費	金五百圓	雇人慰勞及諸手當金
金百圓	臨時準備費	金五百圓	創設準備費
金百圓	接待費	金五百圓	借家料三號五號館及美術協會
金百圓	一貳千參百貳拾四圓五拾錢	金五百圓	審查諸費
金百圓	此細目	金五百圓	東京審查員三拾名贈物代一名金十五圓
金百圓	東京審查員貳拾名贈物代一名金參拾圓	金五百圓	地方審查員貳拾名贈物代一名金參拾圓
金百圓	審查書記長月俸四ヶ月分壹ヶ月金拾五圓	金五百圓	審查書記三名月俸四ヶ月分壹ヶ月金拾五圓
金百圓	審查員付給任書名月俸四ヶ月分拾金六圓	金五百圓	全小使貳名月給四ヶ月分一ヶ月一名金六圓
金百圓	筆墨紙代	金五百圓	品評會并手傳履手當
金百圓	審查員辨當代七百五十本代壹本十五錢	金五百圓	審查員慰勞會費
金百圓	雜費	金五百圓	賞費
金百圓	一五千二十五圓	金五百圓	此細目
金百圓	金七拾五圓	金五百圓	金賞牌五拾個製造費壹個金壹圓五拾錢
金百圓	金百五圓	金五百圓	銀賞牌百五拾個製造費壹個金七拾錢
金百圓	金貳百五拾圓	金五百圓	銅賞牌五百個製造費壹個金五拾錢
金百圓	賞牌元形形代	金五百圓	

本組合録事

本月十六日例刻より役員會を開き五二會全國品評會開催に付東京市參事會へ補助金下附の請願に關する報告及前田監督歸朝の件其他一二の報告あり次て諸事に移り大坂小間物商工組合の提議に係る賣掛代金不拂者處分に付各業組合聯合の件を可決し且各業組合へ夫々交渉の上規約を確定する事とし終つて明年度總會の準備等を協議したり

●第三次交親會 豫て本組合員中有志者諸氏の組織に成れる同會ハ本月が其第三次の會期なるを以て去る十二日明治座の觀劇を催したり當日相會する者男女合せて三十有餘名殊に關左兩區の顔合せなれば又一層の愉快を覺へいづれも欣々然として終日の歡を盡し和氣滿々の中に散會したるは即ち午後七時過ぎなりしが例もながらの總會と相變らず幹事が用意の周到にハ一同満足のやう見受たり

●紙捻籠 日本橋區橋町一丁目川岸通り一瀬伊八氏方にて製造販賣の金錢取扱紙捻籠は同店が元結に使用する俗に文七紙と云へる原紙にて造りしものゆゑ取扱ひにも頗る堅牢なるのみならず輕便且つ高尙なれば銀行會社 諸商店などに金銀を扱ふ處にては概ね之を用ひつゝある事なるが同店に於ては猶一層是が販路を擴張せんと近頃熟練の職工數名を増員して盛んに製作中なりと云ふ

●萩之園の菊 向島岡田堤の同園は淺草藏前なる文七元結間屋萩本の老人が餘世を處外に樂しまんとて敷けし處なるが此頃ハ又世に珍らしき數十種の菊花の美事に咲爛ひ真に俗氣を離れたる風流なるより枯野を散策かたゝ同園に杖を曳く人多しと云ふ



登 商

ライオン齒磨の特効

本品は化學作用により多年實驗して好成績を得たるに依り一層原料の良質を選擇して精製したるものなれば從來世に行はるゝ普通齒磨と其質を異にして香氣麗郁として口中の汚物と臭氣を去り齒質を雪白健全な**世界無比**にして且該品を常用し歯齦を治し總て口中一切の病を患ふる無きと疑なし是れ本品の特効なり江湖の諸産積々多試用の上高評あらんと云

東京市神田區柳原川岸廿二號地
電話浪花四九八番
小林富次郎

東京特約店
橫濱特約販賣 支店 野田 中村商店
横濱特約販賣 支店 野田 中村商店

特約店 東京小間物卸商組
合各店

○賣捌所は全國到ル所ノ小間物店ニアリ

諸官省御用 ●全國五二會品評會に於て**進歩銅牌受領**

人印石燭は光力非常強く炭上油燭なし且保つ時間長故に經濟上に利益あることを在來の燭燭に比し殆ど二倍強に當る其原料は我國の礦質なりバ臭なく極めて清淨なるを以て神佛燈火及家庭には尤適し殊に美麗なるを以て御進物等に宜し西洋形六時間大形五時間中形四時間小形三時間製造發賣元東京馬喰町二丁目 持受合

花王石鹼本舖 (電話) **長瀬富郎**
市内は十番以上兩邊市外十番迄は見本送可仕候
近來類似あり人印商標長瀬富郎名義に注意せよ

鹿印煉齒磨

良質佳味ニシテ衛生上
最効能アリ使用後精神ノ
爽快ナルハ本品ノ特色ナリ

東京馬喰町二丁目(電話浪花九二二)
花王石鹼本舖 **長瀬富郎**



郵便電信料 逕信省にては事業擴張費に充てる爲り一時郵便電信料増加出たるも輿論の反對多きのみならず交通機関は成るべく低廉を要すとの原則に反するを以て今日には全く廢案に歸せし如くなるが獨り電話料に至りては今後架設の増加と共に地下線を用ふる等なるを以て大に費用を要すべく而して需用者は官省、銀行、會社、商店等概して富者に多きを以て電話料を増加すると格別の反對なく實行するを得べし又同省にては一時電信の名宛料を徴せんと欲せりしも却ては發信人が料金の低廉を欲するの結果字數を省略して遂に明了を缺くの不都合あるべきを以て此議も全く消滅したるなりと

職工條例制定の要旨 農商務省にて調査中なりし職工條例は略ぼ脱稿したるよしにて其要點は本報上に記載せしが尙ほ開く所によれば同條例は現時外國に行はるるものと大に其趣きを異にし只大體上の事柄を規定し置くに過ぎずと云ふ例へば職工の衛生若くは教育の如き當局官廳が此事に就て充分の調査を遂げんに目下我國の各工場に於て衛生上單に顧及をせざるに過ぎず教育も亦同様の委にて取調し、要する材料に乏しきと同時に如何なる規定の必要なるや容易に知り得べきにあらざりて今日の場合に處せんには先づ職工の衛生教育等は忽ちすべからずと云ふが如き空漠なる規定に止め置るべきを以て漸次必要なる個條を此内に追加する見込みなり殊に我國の工業は今漸く其初歩にあるものなれば尙ほ雇主の利を謀りても尙ほ且つ之を開發進歩せしむるに務めざるべからざる際なるを以て労働時間制限の如きは差當り之を規定するの必要なく只職工争奪の一事は工業上の進歩に非常の妨害を與へ雇主の責をば損害少なからざるに付條例上に其制裁を規定し置く考へなりと畢竟此の如き條例を今日に發布せんとするに至りたるは條約改正實施後外人の我國にて各種工業を起し雇主と被雇者との間に面倒なる紛議を生じたる際、急に職工條例を制定せんとするに至らば初より複雑なる法文を設け之が爲めには我國の事情に相調應するが如き結果を

生ずるやも知れざるを以て今に於て大體上の事柄を規定し置き必要に應じて條文を追加することを得たるものなるべしとの意に出でたるものなりと當局者は語れり

輸入超過、物價騰貴、紙幣増發 物價の騰貴は何に原因せるや或は曰く人民生活の度進むに従つて物價は騰貴す目今物價の騰貴せるは一般生活の度進みたるが故のみと或は曰く目下の騰貴は全く日本銀行に於て紙幣を増發せし爲り通貨格外に膨脹したるに因るや甲論乙駁其言ふ所多々なれども現時物價の斯まで騰貴せるは唯單に戰勝後一般富有となりしために生活の度を進めたるに因るものと而已思惟する能はず假令戰後一時は一般に活きたりとするも決して長く其儘に續く可きものにあらず現に東京市内に於て賃銀及一定の月俸に衣食せる者の困難せるは明かなる事實なり地方には農民の少し餘福ありと云へども其多數の小作人に至りては決して然らざるなり勿論物價の騰貴は一般購買力の増加せしむる原因の一なるべしと云へども日本銀行が金利引上げを恐れて或は預金に或は制限外に紙幣を増發したるもの亦其原因の一なるに相違なし新く物價の騰貴せしからは輸入の増加するは又止むを得ざる事にして本年一月以降九月までにして輸入の超過額實に四千四百三萬五千四百八十八圓に達せり幸ひ政府の倫敦預金を爲替にて取寄するありて正貨の輸出は案外僅少なりと云へども斯の如きの現象は規則の最も甚だしきものにして寧ろ嘆せざる可からざるものなり日本銀行の營業方針は他で利子引上げをなさず紙幣と需用の債に發行することなるや否やは明かに知るを得ざれども一般經濟上の大勢より利子を引上げ紙幣を收縮せんことを識者の多數が希望せる所なるが如し日本銀行が紙幣を増發して資金の需用に應せんことを一應は左なる事なるが物價の騰貴せし爲り各企業會社の目論見算に大いなる相違を生じ却て其事業の進歩を阻害したるの形跡あるは實に残念の事なりと其事業家は談り

大勉強の 利軒
 神田區橋本町三丁目甲地
 糸原涼藏

學校用品鉛筆
 年帳各種石鹼入
 教育品雜貨

くろくろ 懐爐 面巾 空氣 常備

歯磨
 此めさし齒磨ハ品質頗る佳良なり故に齒牙をして健全且光澤を發せしめ口中自ら清潔にして諸患を除き又他の惡氣を拂ふに特効あるは既に諸名醫諸大家の証言に據りて明瞭なり是を以て今や海外に迄其名を馳かし日には是が輸出の増額を見るは弊舖の最も名譽とする所請ふ世の諸君若し命は食に在り食は齒に在る事を知らば常に此めさし齒磨を使用して以て天授の幸福を全ふし給へ

製造發賣本舖 東京日本橋區馬喰町一丁目 金城堂
海外代理店 北米合衆國 アムステルダム 高濱商店
 和蘭國 アムステルダム モーサン商店
 次所ハ全洲到ル處和洋小問物商店及ビ賣藥商店ニテ販賣仕候

イリス粉石鹼發賣廣告
 粉名イリス粉ハ歐米諸國ニ依テ製造セシ化粧洗料ニ日ニ歐米諸國文明國ニテ專ラ採用セラルニ至レリ品質ノ善良ト性質ノ佳快ナル他製品ノ及ブ所ニアラズ加フルニ藥品配合ノ宜キヲ以テ常用セバ最も皮膚ノ艶麗ヲ保全ス又容器ハ輕便ナルガ故ニ旅行攜帶ニ尤モ適ス 意匠登錄出願中

標商錄登

イリス石鹼 發明所 安永舎
 配合所 松澤化粧品部
 東京日本橋區山町二丁目
大販賣 天野源七
 東京小問物卸各商店にあり



醫學博士 齋藤 實
 帝國大學醫學部藥劑學士
 帝國齒科專門醫士
 前新潟病院長醫學士
 前四位子爵醫學士
 此ノ他諸大家証明及ビ賞狀アルモ略ス

中野野一君實驗證明
 西尾正秋君實驗證明
 山崎元君實驗證明
 新田直君實驗證明
 渡邊泰君實驗證明
 津島實君實驗證明

第壹〇號 東京區山町一丁目八番地
 齋藤實 齋藤實
 本舖在り東京日本橋區馬喰町一丁目
 有寄物賣出ニ付テ本舖ハ東京日本橋區馬喰町一丁目
 明治廿四年十二月 所長齋藤實 齋藤實

海軍御用 海外輸出品

内務省衛生試驗所御試驗済

金城堂
 大野金五郎
 高濱商店
 モーサン商店

賣出りの話

其昔西京に名高き遊君あり朝に送りたる源氏の公達夕べに迎へたる平家の殿原さては町人職人の差別なくわらん限りの殺し文句に起請誓紙を取交はし誓文を以て山を爲したるが一朝悔悟の念に驅られては人の止むるをも顧みずして惜しげもなく縁の黒髪を断ち尼寺に入りたる際多年の罪業を滅さん爲めには是等の誓文を焼拂ひたることあり願智を以て豊公の額を繋りたる例の件呂利新左衛門は或日の事同地の呉服店に招かれ席上主人に向ひ此遊君の話を引合ひに出し當家にては平素諸客の愛顧を受けること少なからざれば年内一度は之に酬ゆる爲め格段の安直にて呉服物を賣出されは如何と述立てし主人は實にも打背き遂に其説を實行したること今の所謂賣出しの始めなりと云へば事の起りは遠き昔の豊公時代ありしものと知らるればにや上方にては今尚ほ賣出しを賣出しと稱し各店何れも十月二十日より三日間寄切れ袋切れを賣出し東京の如く店によりて其日を異にするが如きことなしされど其時代ありては今日の新反物の切賣りを爲すことなれば九霖の聖助仲間に一筋の價鼻種を買はんとすれば四人の相持を組まざるを得ず義理と價鼻種云々の勝は此邊の意味を有する者なりとか餘言はさて置き斯の如き有様なれば當時にありては誓文拂に際し其徳の反物を元直以下に賣拂ひ平日の愛顧に酬たる者なるが其後は反物の切賣盛に行はれ何れの店にても切賣物には一割以上の増直を見込めれば三四尺の残片は畢竟無代價にて拂拂はすも算盤にかゝらぬ程のとなく此に於て關東にては賣出しと唱へ毎年夏冬兩期の初めに數多の寄切れを賣するに至りたるものなり此習慣は今に至る迄繼續し來りたるのみならず近年東京に於ける有名な呉服商の賣出しは非常の盛況を極め其の寄切のみにては到底多數客の需要に應ずる能はざるを以て幾々賣出物を仕入れるに至り現にさる呉服店の如き昨

Advertisement for 'Hakko' (鶴卵) medicine. Includes a drawing of a crane, a price list (大貝 一錢, 小貝 一錢, 定價 四錢), and a list of distributors (東京市日本橋區馬喰町二丁目 淺井支店). The text describes the benefits of the medicine for various ailments.

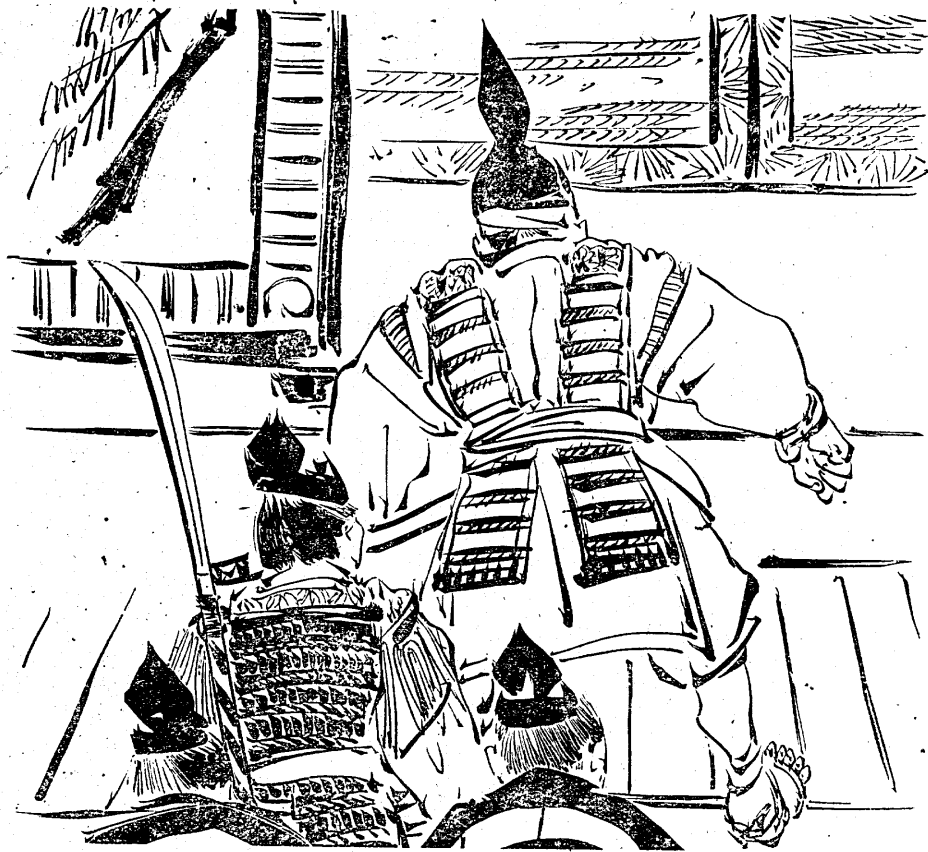
Advertisement for 'Hoshino' (星野) perfumes. Features the text '人造麝香' (Artificial Musk) and '星野名産' (Hoshino Specialty). It lists various perfume products and their prices, along with a list of distributors across different regions.

秋の花妻 (第五回)

一 彌子 稿

聞くより桶淵は膝ふし前め、桶始めて開いた父上の
 の伊身の上夫より如何なされたか、問はれて
 寂忍思はずも衣の袖を涙に濡はし、其左れば
 坐ります伊父上三郎殿には辞世の御歌を置土産
 阿入道殿の伊供をなし群がり来る小武勢の中へ
 もふらず聊て入り當るを幸はひ雄立て切り立て屍
 の山血汐の泉飛越へ跳越へ小武が馬の前に突立ち
 「日本一の勇将者一念疑つたる三郎が忠義の及受
 けて見よと下せし及の切先僅かに小武が手先
 を擦り乗つたる馬の平首へサツクと計り切付けた
 れば馬は驚ろき一跳はねて一散走りに馳出せしに
 テンレ脱すなと源阿殿御父上と唯だ二人何處まで
 も追掛けしが彼方は馬此方は徒歩森に沿ひたる
 崖道にて終に小武を見失ない其處か此處か尋ぬ
 る内小武の軍勢集まり二人を中に取り圍んで引籠
 め射すくむるに二人は防がねばもく身体に
 立つ矢は蜘蛛の如く進退に谷まれるのみか味方は
 既に討死して生残る者一人も見えねばハヤ是まで
 と源阿殿の上帯引解きて腹十文字にかつ割き敢
 なき御最期に及びたり御父上も後れまじと續いて
 腹をかつ割き同じ枕に倒れ申したと暗る内にも聲
 うるみ数度となく返るに桶淵はあるにもあられ
 ぬ思ひ無念の眼血走りて双の拳を握り詰め、桶己
 れ惜く小武が振舞主君の御敵父上の仇今尊氏卿
 東軍を平らげ勢ひに乗つて官軍に及向ひ威權を一
 方に振へども逆賊いかに心ひざらん小武も虎の
 威を借りて我儘無禮を振舞ふともやわか其儘置く
 べさぞと恨の涙切なき体見るより寂忍押有り、其
 左様にお嘆き遊ばすも伊尤もには候へども一團に
 思召したりとて桶淵が斧に等しからん先づ一伊
 心静められて愚僧の申す様をお聞下され、云はれ
 て桶淵も實にも思ひ、桶成程血氣にはやる者は
 事を遂ぐるに足らずとやら受けたる恨だに忘れず

ば仇を報ゆる時も来らんテ此桶淵を産みたるは
 其手束と申す殿の女が定めし未だ存生であらう何
 れに居るか教へてたれ、其左れば其手束殿存生
 生でさへある事ならば和子様の伊成人遊ばされ立



飾りし佛壇より源阿殿を始めとし三郎手束兩人の
 位牌を出して示せしに桶淵はいよ一涙に掻き
 れ位牌に向ひて幾度となく拜禮し、桶シテ其は幼
 少の時より其處許の伊養育に預かり申したか、其

派な武士になつた姿を一眼お眼に懸けらるるを痛
 はしや手束殿御父上討死の沙汰を聞くより朝夕嘆
 に閉ぢ給ひ和子様をお産み申してより産後の肥立
 思ひしからず程なく逝去り申して御坐ると傍へに

左れば夫に付ても一條の物語りが伊坐ります其手
 束殿の姉敷妙と申すもの利子様のお生れなさるゝ
 時同じ男の子を設けしが其後和子様が母を失なひ
 乳さへなさを憐れが己が懐にかき抱いて我子

と共に養育する内如何にして聞傳へけ小武の郎
 黨屋新左衛門と申す叔和子様の討手として馳向
 以村外れまで来りし敷妙早くも聞知りて其此此
 寺へ進入りたる愚僧の許へ馳來り假令我子は救す
 ども和子様だけは助けたし工夫はなきやと切なる
 頼み愚僧も不便には存じたれど所謂脊に腹へ替え
 られず篇と敷妙に頼得させ和子様と敷妙の子桶淵
 と同年を幸ひに和子様の衣類を桶淵は若せ桶淵の
 衣類を和子様に着せ和子様を敷妙の家の破垣の
 下に遊ばせ置き桶淵をば家に入れて文字など書か
 せ置きたる所へ新左衛門入來り泥沙浴て遊び居り
 し和子様をば誠の三郎殿忘れがたみと心付かず敷
 妙の桶淵をば和子様と思ひ過まり首討つて立歸
 つたれば伊身の上は別條なく其儘桶淵と名乗らせ
 申し此寺に引取りて今日まで伊養育申し上て伊坐
 る桶シテ其敷妙は如何致しました敷敷妙は其
 後我子の菩提を申らふ爲此門前に庵を結んで長
 年月住ひ居りしが先年利子様七八歳の朝り那の世
 の人となり申した其位牌も是にありと同じ傍へ
 に押列ぶるに桶淵は始めて仔細を知り打驚ろく事
 尋常ならず、桶淵は某が幼なき時佛生尼といふ
 尼ありて常々某に眼を懸けられしが其尼が敷妙
 にてありけるか左せる討手の來りし時美事打たれ
 て死ぬべかりし敷妙の子を身代りせしは反す
 くも不便の至り是と申すも昔小武が爲せる業
 今に見をれと計りにて遙かに城池の方を睨んで齒
 を喰はるる道理なり

●若松小間物組合 同組合にては本月六日秋期
 總會を開き會計事務の報告、議事規則の訂正及び
 組合基礎を鞏固ならしめんが爲め各自基本金とし
 て若干圓づつを抽出する件並びに役員三名を更に
 五名に増員する等の數件を可決し其改選を爲した
 るに組長には高瀬真吉、會計主任は深谷善兵衛、庶
 務石原傳蔵、石室善蔵、鈴木重吉の諸氏當選した
 りと云ふ

十一月一日直上相成候間豫告申上置候

元あれあらすかん菊發賣元
相成候間茶 十一月一日 直印五分掛引上 廣告仕候

協田盛眞堂
電話八十六番



吉常津木

玉親徳勉
樺良精品物
擊學手筆井
劍校提煙入
道用物豆大
具衣靴八入
類新類入
全日類入


北香八町區區區本日本京東



化粧器種石燈問屋 山田篤三謹製

あまのそよよの効能ハ
あまのそよよの効能ハ
あまのそよよの効能ハ


商標 氏田山
氏田山



一手大販賣

東京市
山手区
大塚

天野利助



兼自由指環

元結八らせ
根掛

近江屋針店
東京市
大塚



麝香ねりおりい

日本の馬喰所山下町一丁目番地
製造元 東京荏園堂

麝香ねりおりい



製元 森川積善堂

東京市
山手区
大塚

森川積善堂



改良蠟引紙壽賀本舖

東京市
山手区
大塚

改良蠟引紙壽賀本舖



博覽會有功賞銅牌

創設二十五年紀念
博覽會有功賞銅牌



りて取ては捨て捨ては取り取りもせぬ品物を何時
 造も小島に抱へて夫れから夫れへと飛廻るお空も
 多しとか此此の間に萬引の行はるゝは必なる
 を以て大なる店にては六七人の探偵は場内に入込
 みて注意怠りなく出口に於ては風呂敷包を改め其
 内の品物と帳場の金目受取證とを相對照し以て品
 物の紛失を防ぐも便所に入りたる際などに小切物
 を懐中若くは腰間に隠す悪徒も少なからざれば年
 々二三百圓の品物紛失するよし本年も追々賣出の
 期節に近寄りたれば各店とも目下其準備に忙はし
 と云ふ

●職工條例と工場監督官 工場内の風紀、衛生等
 の監督は従來總て其地方の警察署に一任しありし
 も警察事項の煩繁なると同時に警察官は常に工場を
 巡視する暇なく假令の時々巡回するも容易に弊
 害の潜伏する處を見出すを得ずとて今回制定せん
 とする職工條例中には工場監督官なるものを設
 け總て工場を見廻らしむる等なりと聞けり

●工業に對する勸業銀行の貸出方針 勸業銀行
 營業の目的は低利長期にして且つ年賦にて償還
 するを得る資金を農工業者に貸付け以て事業の改
 良振興を謀るに在るは當局者が屢々明言せる所
 なり然るに開業以來同行の營業方針なりと云ふを
 見れば資金の貸付は専ら農業者のみに限られ工業
 會社などは容易に融通の便を受くる能はず斯く貸
 付の方針が農業に厚くして工業に薄きは曾に偏頗
 の嫌あるのみならず同行設立の精神に反し今後大
 に工業を奨励するの必要なる點より見るも甚だ當
 を得ざる處置なりとは近來一部の工業者間に起り
 たる苦情にして現に大阪商業會議所の如き先頃の
 委員會に於て右様の意味の書面を大藏大臣並に勸
 業銀行總長に送り貸付方針の改正を促がさんと決
 議したる由なるが之に就て勸業銀行の爲めに辯護
 する者の説を聞くに工業會社なり工業家なり其事
 業にして前途成功の見込みあり且つ確實なる抵當物
 わらば之に資金を貸付くるは即ち同行の營業にし

て農業者に貸付くると少しも異ならざるは勿論の
 事なれども如何せん今日の工業會社は殆んど玉石
 混濁の有様にして一時の投機熱に浮されて設立せ
 られたるものゝ如きは昨今金融の逼迫するに従つ
 て株金の拂込次第に困難となるを以て皆資金の不
 足に苦しむ前途多難の位置に在り斯る會社が其工
 場なり或は所有の機械なりを抵當として勸業銀行
 より長期の資金を借入れて株金拂込の厄難を免か
 れんとするは最も希望する所ならんやれども之が
 爲めに經濟社會に投機熱を促がすは勿論最も確實
 を期す可き勸業銀行の營業をして投機業に關係せ
 しむるの不幸を見るに至らん殊に昨今の貸付ハ今
 後の撲滅ともなれば注意を加ふ可きは云ふ
 迄もなき事にして限りある資本を妄りに投機事業
 に貸出して確實なる事業の發達を妨ぐるが如きは
 最も戒しむ可き所なり左れば勸業銀行が工業者に
 貸付を好まざるの形跡ありとするも此は工業會社
 の現狀より見て己むを得ざる所にして速かに投機
 事業の跡を絶ち勸業銀行を利用するの程度に進
 むこそ工業者の責任なれと云へり

●日光紀行(京前) 骨皮道人
 歸路は概ね下り坂にして殊に駕籠も大急ぎに昔し
 の道中歌などうたひながら飛行せしが爲り存外早
 く掛取へはか取りたれど何に致せ一里半餘の山路
 なれば裏見の茶屋に着したるは殆んど薄暮の頃と
 なれり依て跡より来る案内者を待の暇もなく又一
 碗の茶をも香ます直ちに駕籠に案内をさせて油に
 到る此道凡そ三丁石四元の小徑にして曲折恒
 なく或は藤藪等の小橋を架するあり其間又濕水の
 窪みとして流るゝあり歩行頗る困難と云へども若
 し白晝觀覽の時間ありてゆるゝ之を弄びなば
 嘯や奇絶極なりと思ひしかば惜いかな其時間
 のなき爲り途中西燕翁の碑「しづらくは瀧に響
 るや夏の初」と云へる句さへ歩まながらに手拍へ
 せし位なりし既にして河流を隔て、向ふに觀る之

籠取錢金

金錢取扱ニハ最モ必用ノ品、殊ニつりせん等差出シ候ニハ
 至極便利ノ紙撚籠、製造方ハ強力ノ紙質ヲ撰ミこよりト
 爲シテ堅牢ニ編ミ漆止メニシテ高尚優美
 定價 大形金卅五錢 中形金廿五錢 並製金二十錢 黒色藍色二種
 製造元 文元結問屋 三河屋伊八
 ●買割キ御望之御方様ハ割引御相談可仕候

CORAL DEALER.

珊瑚 琥珀 珠

皇國 白來 珊瑚 珠

珊瑚樹 枝置物數種 其他珊瑚一切

珊瑚 美術彫刻品 修需ニ應ズ

今般業務擴張致爾後多少ニ拘ラズ廉直販賣仕候間御愛顧御引立
 ノ程奉願上候

珊瑚珠樹問屋 兼 大坂南區大寶寺町 小栗勘兵衛本店
 東京馬喰町三丁目 小栗勘兵衛支店

WINKO DENTURIGE 磨齒庫金

TRADE MARK

平谷合資會社

幼を診せず常に此金庫齒磨器を使用して此廣告の虛ならざるを確信し給へ

式部石給 金庫齒磨器 發賣元 東京堀江町二丁目 平谷合資會社

定價 小箱入 金三錢 瓶入小形金拾錢
 大箱入 金五錢 全 中金拾五錢
 表箱銀付金十錢 全 大金廿五錢

近來衛生有功と稱するの齒磨粉も少
 からず多しは是れは製法を以て當
 地に購へば其製法にありて期滿
 門の諸博士に計り其製法を受け以て
 此金庫齒磨器を複製販賣す此後諸
 君の和洋折衷の新法に於て此磨
 磨器を使用する時は齒肉を傷めず
 全齒白くしむるは勿論又口熱口臭
 を去るに特別あるが故に齒牙の蝕損
 腐蝕及び俗に云ふ虫歯等の諸患は
 ち拭たるが如く治し之を預防す
 る事最も妙なり是れは世の衛生に注
 意し實際を重んじ命は食に在り男女老
 幼に在る事を知らしむるは男女老

之階降の瀧と云ふ幾尋の懸崖一面に霜雪を被くが如し因て此名ある歟夫より數歩にして踏踏き恰も屏風を立廻したるが如き處三瀑布の鼎足狀に懸るあり左方にあるを相生の瀧と云ひ右方に觀るを白絲の瀧と名け其中間に懸る即ち裏見の瀧なり相生は直立平面の岩石に垂下し白絲は水晶玉簾を懸下するに似たり而して裏見は直下する幾十丈、相生の瀧を横ぎり小徑を攀登りて裏面より觀るを可とす故に裏見の名あるなり此時既に黄昏その裏面に登るを得ざりしと雖も天然の圖書人をして仙洞に迷ひ神郷に遊ぶの思ひあらしむ誰か快哉を叫ばざらんや

瀧壺へ落ち込む聲やほとほと

夫より茶亭に歸りし頃には最早人の顔さへ見分ぬ位なりしが瀧壺へ見て仕舞へばもう取て急ぐにも及ばずと磁茶一杯に咽を濡らし同勢の勸めを待ちつゝ茶亭に三張の提燈を借受け再び瀧壺に乘りて居眠りをしたり或は低聲に月落を吟じたりしなから何様な道を通つたか夢我の夢中で旅店に歸着す時に午後八時半頃なりしが彼の中宮湖岸より直ちに歸宿せし人々は早已に團扇杖を棄て興將に閑ならんとするの時なり道人等の顔を見るや否や異口同音に嘲笑々至る曰く聞夜の瀧は如何なりしや曰く手探りの瀧も亦一興なりしならん道人等は之を駭して其人々の勇氣なきを笑ひ且つ裏見は眞に天下の奇觀なるを説げども概ね信を措ざるもの如し是蓋し夫程の時間あらうと思はざりしに因るならん既に先づ一浴埃を洗ひ去て配膳に就き所謂掛附三杯に勢を盡し談笑劇更關るを覺へざりし

因みに云ふ此日歩行連の人々は随分閉口せられしと見へ同行の中に在りし某氏は歸京の後左の會館を道人に贈られたり

(前路)日光紀行拜見當日の大愉快を追憶致候昨併廿四日の順路に馬返しの正午前に駒ヶ峯の登り及び裏見の瀧より夜中の戻り道だけは小生山

路に不馴ゆゑ實に閉口仕候依て其命の惡毒に馴ぬ山路に腹工合もドーンに近づき午前十一時二十分馬返しに着し先づ不取取馬屋の力餅を喫して

北山で力の餅も馬返し

三里も走る勢ひを出る三澤より駒ヶ峯の登り磁石の處にてのぼりた路も磁石の駒ヶ峯

足も吸付くやうな山みち

裏見の瀧は首尾よく見物を済したれど何に致せ日の暮となり茶屋にて暫時休息の處、駒には鳴立られる先生の聲には後れる午後七時過ぎ馬返し馬屋より借入の提燈にて歩行連中一同小生等十八ばかり出發山中の間路を辿り四面さびしく連中皆足の勞れも我慢して勢ひゆる進軍の如く各々端歌を一聲色なき唄もふ素より口三線ひくものは只ヒッポのみにて猫なしの大陽氣な夜中の山路に煙草を一服といふも提燈の灯を無心するなど頗る五段目の駒平瀧五郎たる趣きあり既登の時刻も夜間、炊の段も時に適ひ夫が爲り夜道も苦なく諸君に後れて一同紙手に返り申候其途中小生も口の中に鼻唄のりや

よい山路をして裏見の瀧を見てアレ

鳴くわいな路のひぐらし

と申ながら此困難あつて愉快の度は又一層強く覺候云々

廿五日の朝五時頃他の朝起の人々と共に例の朝風に吹かれんものと寢床を離れ眠れ目を無理遣に摩りながら

みじか夜や話しの末を夢に見しと寝言の言ひ餘りを手帳に書留めつゝ今日の天気は如何にや彼の泣虫山を見渡せば晴々として復一点の雲の懸るなし是に於てか先づ今日も好天気なりと一同に打喜び皆代るく顔に洗ひ頭髪を

梳つり膝を接して茶を喫し四方山の話し時を移す中早や朝露の仕度も整ひしとて下坪の膳部を運び来るを一同に喫終り夫より一半は露降に一半は又裏見と露降を願する目的にて何れも是が行装に着手し或は瀧壺の或は馬車あり或は又馬を備ふ人等もありしが道人等の一行は他の人々に關係せずか先へ御免候へどスタク露降へ出掛たり蓋し露降は日光の町を距ること凡そ一里半、裏見の道とは方角を異にし裏見は左に行けども露降は右するなり先づ神橋の傍らに至つて路を右に取大谷川の淺瀬を渡りて行くと數町左に見る樹を小倉山と云ふ此頂上に里沙門の祠あり毎年一月二日の早天此祠に到りて第一著に鐘を鳴したる者は即ち無上の高運を得ると稱し當日は頗る賑ふと云へり既に此坂の間登りしとも數畝の田ありを見る御教道人の爲りに説て曰く日光の地古來より水田なし近年に至つて僅に是だけの田が出来たりと、ソコで取致す

山間や手のひら程の田も植る

瀧壺の中に降降りつゝある事ゆゑ格別面白話しもなく只山色を眺めながら程なく露降の茶亭に若す此處に「くだけては三千尺や瀧の月」と云へる雪中庵本翁の建碑あり、武骨猪氣なる人の老翁が汲出す磁茶を喫しながら只見れば直懸凡そ一町程もあらんかと思ふ邊りに水聲の滔々として露降の瀧壺を認む是即ち露降の瀧なり夫より一行の人と共に小徑を辿り行くに此路は下る一方にして草木生茂り殊に岩石の凸兀のみなれば杖なくして中々の困難なり此時フト胸に浮び出たる例の出題目

瀧壺の若葉やぬれた日のおたる

下るこ凡そ貳町許にして漸く露降の眞景を觀る然れども此瀑布は三段となつて落来るが故に其全形を觀ることは能はず彼の茶亭にて認めらるる上層とし此處に近づいて觀るは即ち中段より以下なりとす而して其下段の處は平面の岩石を傳は

りて緩やかに落来るが故に婦人小童と雖も十分之に打るゝを得るなり是に於てか我々一行も皆衣服を脱ぎ去て文靴を學々其快實に云ふべからず既にして再び小徑を攀りて茶亭に歸り暫時休息の後道人は瀧壺を平尾岩に降りて歩行連に加はり瀧に浴したるの威勢を以て最初の程は頓と雲を知らざるが如くなりしも何がさて未だ二三町も歩さぬ中から又候ビヤッヨリと汗に爲り前日の峠道程にはあらねど一足毎にゴッゴと埃の立つには随分閉口の至りなりしかば

旅あつし今日も埃を連にして

斯くて凡そ小半道も歩み出しころ彼の裏見より廻り來られし他の一行の人々に相會せしが忽ち東西に風馬牛となりて我一行は二三の茶亭に休憩を取らりつゝ神橋まで歸りしは鐘て午前十一時過にてもありしなるべし夫より又合滿凡そ七八町許にて弘法大師が投筆と云ひ傳へる舊跡を尋ね此處には化地蔵と稱する百有餘の石地蔵あり投筆とは瀧壺の深淵の中にして向ふの巨石面へ大なる梵字を書したるにて文字は判然せざれば案内者の説明によつて能く見れば成程おぼるげに凹みて梵字を刻みたるが如くに見ゆ其他大師が自ら刻み付た云へる岩中の地蔵及び經文等あり夫々見終つて旅宿に歸り先づ空腹を補ひ一睡の後、同午後五時の流車に乗て同十一時頃上野に到着し各々別れを告げて無事に歸宅す

道人白す此紀行終るを待て其瀧たるを補ひ且つ後遊者の參考として更に日光案内記なるものを掲載の積りなりしも如何にせん紙面常に緊急記事の輻輳し殊には追々寒氣に向へる今日遊歴の案内と来ては餘り時候はづれて馬鹿しくしければ止むを得ず一時間前約を取消し置きしけれ又時期を改めて記載する事とせり

看客幸ひに諒せられよ

本邦製品は不備にして且つ往々見本と異なること
 此點は殆んど高口一致にして又説明を要せざ
 るべし蓋し見本を以て買取引を爲すに當り實際
 の商品が見本と異なることは實用に不便を生ずる
 のみにあらず全く取引の信用に關するものにして
 歐米の商工業者の最も意を用いる所なり然るに本
 邦の商工業者は之を輕視するの傾きあり又採合之
 に意を用ふることも今日の如く個々別々の製造家
 りて手先職業に依りて製造に従事する姿にては機
 械を使用する如くに商品の均一を望むべからず而
 して此缺點ある間は決して世界の商業上に地歩
 を占むること能はざるなり又本邦人の思想を以て
 すれば或る種の物品の如きは却て多少の不備ある
 を雅致ありと考ふべけれども齊整均一を好むこと
 甚だしきは歐米人の需要を充さんとするには一定
 と云ふと第一の要件たり是れ大に注意せざるべか
 らず

本邦の製造家は需要者の嗜好を研究して新意見を
 加ふるを怠ること 平生需要者の嗜好を研究し
 て其變遷に注意し時々の流行を豫測して新奇の物
 を發明し又は新意見を加へて在來の物に改良を施
 し以て同一の需要地に常に新販路を見出すこと
 蓋し商業の利根ならん歐米の商工業者は此に其全
 力を盡すが如し翻つて我商工業者を見れば内地向
 の商品に附しては頗る此點に注意することを怠ら
 ざるに拘らず所謂輸出の商品に關しては需要者
 の嗜好には微塵の注意を與へざるもの、如し偶々
 少しく注意するものもあるも其爲す所淺薄にして實
 際に注視するもの多く總合本邦風の意匠模様及び
 形骸が偶然歐米人の嗜好に投じ一旦多額の需要を
 見るも我製造家にして單に同一の物品を製造する
 のみにして斯くす歐米人の嗜好の變遷に注意して
 其製品に新意見を加へて改良を施すにあらざれば
 間もなく其需要減少して販路壅塞し製品停滯し非
 常の損失を招くに至るべし蓋し製造家は一旦本
 邦商品の市場に好評を博するを見るときは直に之
 に多少の新意見を加へて改良を施し我商品と競争

し遂に市場を独占するに至ると云ふ我商工業者
 も一旦模倣の範圍を脱するにあらざれば到底歐米
 諸國に於て商工業者と競争して永続し且つ増進す
 る得意先を見出すこと能はざるべし

以上は専ら日用品に附して云へるものなり美術品
 に附しては歐米人も追々我美術の特長を理解する
 者多くなりたれども繪畫の如き彫刻の如き陶磁器
 銅器の如きは歐米諸國に夫々専門の技術發達し居
 り自ら歐米人の美術思想に投合せるものあり本邦
 の美術品は多少本邦美術の特性を賞玩し得る少數
 人士の需要するのみなるが故に貿易上より見れば
 左程重きを置くに足らず然るに洋繪及び七寶の如
 き本邦特有の美術は歐米人に取られては全く新奇の
 ものにして他に比較すべきものなきが故に需要者
 の範圍頗る廣く意を用ひて獎勵せしむる重要な輸
 貿易品と爲るの望あり然るに我邦美術の獎勵に於
 て却て此等のものを等閑に付するの傾きあるは尙
 かに遺憾とする所なり

以上列記したる諸原因は相合して我輸出貿易發達
 の障害をなすものたり若し我邦官民共同一致の力
 に依りて此等の障害を除去することを得ば我外國
 貿易は曾に過去數十年間の比にあらざる半世紀の間
 に歐米を凌駕して其上に出づること難きならざ
 るべし

或は是等の原因は從來既に存在したりしと雖も我
 外國貿易は非常の割合を以て増加しざるが故に將
 來と雖も決して憂ふるに足らず自然の成行に放任
 すべしと論ずる人あるべし成程我貿易發達の割合
 は頗る大なりしならん然れども其實際の數量を取
 りて之を全世界の商業高に比すれば誠に僅少のも
 のにして久しく外國貿易を禁制したりし國が一朝
 其門戸を開くに至りては二三十年間に此位の貿易
 高を見るに至るは當然のことにして無論別段の鑑
 力を要せざりしならんと雖も將來益々其隆盛を期
 せんとすならば決して自然の成行に放任すべきにあ
 らざるなり

(未完)

所賣販大

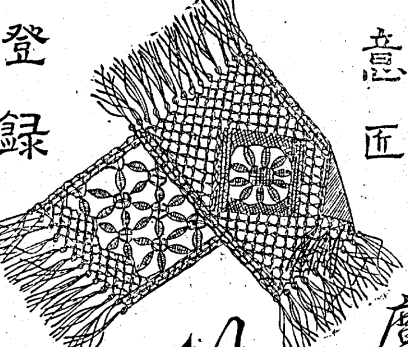
東京日本橋區通町
 大坂南久賣寺町三丁目
 大坂南久賣寺町一丁目
 京都室町五條下ル
 京都五條通高倉西入

小間物問屋 西澤喜右衛門
 小間物問屋 寺澤覺兵衛
 小間物問屋 伊藤豐次
 鹿ノ子問屋 北村政七郎

特約販賣元小間物問屋

意匠 廣告


登錄



以海女一裁

京都婦人 多氣會藝系

雪の梅廣告



定價

金一圓 銀二圓 銅三圓 鐵四圓 錫五圓 鉛六圓 鋅七圓 鎳八圓 鋼九圓 鐵十圓 錫十一圓 鉛十二圓 鋅十三圓 鎳十四圓 鋼十五圓 鐵十六圓 錫十七圓 鉛十八圓 鋅十九圓 鎳二十圓 鋼二十一圓 鐵二十二圓 錫二十三圓 鉛二十四圓 鋅二十五圓 鎳二十六圓 鋼二十七圓 鐵二十八圓 錫二十九圓 鉛三十圓 鋅三十一圓 鎳三十二圓 鋼三十三圓 鐵三十四圓 錫三十五圓 鉛三十六圓 鋅三十七圓 鎳三十八圓 鋼三十九圓 鐵四十圓 錫四十一圓 鉛四十二圓 鋅四十三圓 鎳四十四圓 鋼四十五圓 鐵四十六圓 錫四十七圓 鉛四十八圓 鋅四十九圓 鎳五十圓 鋼五十一圓 鐵五十二圓 錫五十三圓 鉛五十四圓 鋅五十五圓 鎳五十六圓 鋼五十七圓 鐵五十八圓 錫五十九圓 鉛六十圓 鋅六十一圓 鎳六十二圓 鋼六十三圓 鐵六十四圓 錫六十五圓 鉛六十六圓 鋅六十七圓 鎳六十八圓 鋼六十九圓 鐵七十圓 錫七十一圓 鉛七十二圓 鋅七十三圓 鎳七十四圓 鋼七十五圓 鐵七十六圓 錫七十七圓 鉛七十八圓 鋅七十九圓 鎳八十圓 鋼八十一圓 鐵八十二圓 錫八十三圓 鉛八十四圓 鋅八十五圓 鎳八十六圓 鋼八十七圓 鐵八十八圓 錫八十九圓 鉛九十圓 鋅九十一圓 鎳九十二圓 鋼九十三圓 鐵九十四圓 錫九十五圓 鉛九十六圓 鋅九十七圓 鎳九十八圓 鋼九十九圓 鐵一百圓

製造本舖 東京日本橋區 石黒 尚天堂
 發賣本舖 南小田原町 丸見屋善兵衛

海外貿易に關する (承前) 荒川領事の意見

而して或ハ半額を分ちて他の數ヶ所の製造家に再...

すべきものにあらざして一意専心美術の神髓を得...

精製油のねい油

第四回内國勸業博覽會褒賞拜受...



價定 大金六瓶 小金十瓶 壹合罐

製造本舖 芳香卓絶 天下唯一

- List of agents and distributors across various cities like 東京, 大阪, 京都, etc.



此鳥石鹼... 治一切皮膚病... 見定助

第四回内閣
勳業博覽會
褒賞拜受
官中御用海外輸出之鼻祖
芳香卓絶



水製煉製
粉白色害無
天下唯一
唯一
大瓶十五錢
中瓶十錢
小瓶七錢五厘
大瓶十五錢
中瓶十錢
小瓶七錢五厘



海四輝聲名



製造發賣元
關西代理店
協田盛真堂
東京 町二丁目
大阪 大津野
早稲谷

石

帝國醫科大學第二兩院御用
日本赤十字病院御用
其他各病院御用
右羽衣石鹼ハ品質善長芳香優美ナル他ニ比類ナ
キ最効能ノ良品ナリ
故ニ陸軍軍醫總監石坂惟寛先生
實験証明醫科大學藥學士兒島高里先
生(証明有リ)サレバ(羽衣石鹼)ノ名義
ト製(石井勇助)トニ許注目アリテ陸領
造元(石井勇助)トニ許注奉希上候

石鹼大王
全國無比

製造商標

製造元 東京 大野金城堂

定價 四錢 袋入壹錢

品質善 良價格 低廉 眞ノ麝 香ノ香 氣アル ハ猫印 商標麝 香石鹼 ナリ

標商印猫
鹼石香麝
入香麝眞正

東京横山町二丁目
田中花王堂廣告

定價 一號二十五錢 二號十五錢 御賣 一圓七十五錢 二號 一圓十五錢

玉のつや、縮毛をしなやかにする事妙なり
玉のつや、常に用いれ、毛髪發育ます
玉のつや、水油の代用をなす經濟品なり
玉のつやを用ゆれば髪をよけを去る事妙なり
玉のつやを用ゆれば芳香鬱鬱として悪臭をのぞき
悪病流行の時など、傳染の預防となる
玉のつやを用ふ法輕便にして衛生上無比の品なり
五のつやの用法輕便にして衛生上無比の品なり

本舖 東京日本橋區戶物町 (電話九百六十八番) 玉置金八
神田南神保町二番地
淡路島田町
日本橋區馬場町
兩國米澤町
大坂東區道修一丁目
此外全國藥舖賣藥店小問物屋に販賣仕候

寄附先 佐々木木口會社 丸屋善兵衛 大坂東區道修一丁目 丸屋善兵衛

定價 一袋三錢 四袋入廿錢 十袋入廿錢 送費郵稅 各二錢 郵券代用 苦からず

新形 各種 荷前金物 緒締小道具 問屋 善一 丸見屋号 長倉爲次郎 日本橋區橋町二丁目

創設二十五年紀念 博覽會有功賞銅 特製金鷄掛發賣廣告 改良助成掛製造主任 金城天降

伊婦人の粧飾品ハ總て其品位或ハ模倣體裁等
の如何に因て大に其人の品格に關す就中髮掛
品の如き其野卑なれば之を用ふる人も亦自
ら野卑に陥り其品優美なれば之を用ふる人も
亦自ら優美となる故に之を製出して需用に供
する者ハ其物品の精粗に拘らず價格の高下を
論せず宜しく高尙を旨とし且、隨處で日本婦人
の優美を保たしめざるべからざる是に於て加弊
舖の販賣に際して諸物品ハ皆此趣旨に於て製造
するが故に、一として高評を博せざる物な
全國御意諸君の既に熟知せらるゝ處なるが
今回茲に發賣せし特製文長金鷄掛と稱するも
亦一層の意匠を凝らし色合模倣等ハ古代の常
世とを拆衷して専ら流行に後れず時季を外
す金入金なし打出しハ等を始め其數十
種いづれも高尙に過す野卑ならず且つ美麗に
して經濟と衛生とを兼たる近來稀有の新製品
なれば何卒類々御注文あらし事を偏に希望す
る所なり

○婦人小問物。高等時輪彫刻
○縮髮。髪掛類。新形流行品各種
○進歩。貴裝束。生地及製品各種
○有名。化粧品類。特約保證販賣

特製 蠟引 ゴム 壽賀 發賣
東京市日本橋區橋町四丁目

丸屋善兵衛 小問物問屋 丸見屋善兵衛

又古ふトへ

近代世事談(抄録) 菊岡沾涼

本朝は吉備大臣に比せざる、博物志に云、堯造冊
恭以、教子丹朱、吉備公は唐に於ける事二十年に
て、天平七年に歸朝あり、唐にては玄宗帝の時、
日本聖武帝に當る、續日本紀に云、大伴宿禰子出
と、中臣宮庭連東人、政事の際に國基の事あつ
て、憤罵して子出刀を以て東人を殺す、持統帝の
朝に、意氣老人妙術たり、そのも後陽成院の朝
に、飯光寺本因坊日海法師、天下の巧手とす、代
々本因坊と稱す、頃年の本因坊道策は、古今の妙
術たり、甚聖といふべきか
基經に云、王龍夢に龍龍甚經九部を降てこれと
授けり

象戯

天正の頃、京都宗桂その子宗古にふよび妙手たり
、信長公の前にて、宗桂象戯を修す、信長公御覽
あつて曰く、これ則法を象るものなり、武人よろ
しく之を習ひ知るべきの藝なりと、これより留名
をわたり、宗桂と云ふ、桂馬の號あるを象るに似
たり
富兵衛局戲之中、開天下難安、不忘戰之戲也、爾
來有將士歩卒車馬皆砲之象、有藏機隱知二龍出海
、雙馬飲泉之勢、とあれば信長公のことは附合せり
、慶長の頃、宗桂宗古召出され、寛永の頃、御前
に於てたび、之を修す、宗桂象戯圖式を作
り、其子宗古述之、象戯は周武帝之れを造る、其
臣王褒これを得、宋の司馬溫公象戯の圖法を作り
、孟若君此道を得たりと云ふも、本朝の妙手に
は及ばざるべし

● 雙六
梁武帝、天監年中日本へわたり、本朝二十六代武
烈帝に當る(萬葉)一二の目にもあらず、四三

六五さへありけりすさくのさい、つれづれ草に
云、双六の上手といひし人に、その行をい侍り
しかば、かたんと打べからず、まけじどうつべ
なり、いづれの手かどくまけぬべきと案じて、其
手をつかはすして一ゆなりとも運くまぐさ手に
つくべし(下略)
(未完)

◎ 樂牽頭

按摩

肩をひねらせけるは大の下手ゆゑ、これ坊さん
こなさんよりおらがおしなが、はるか上手だよ
按摩胸をおさへ、やがて頭をもみ、それより耳の
わたりをもみ、愛ぞいしがへしと、耳へ指をさ
しこみ、はつつけやらう
● 七ツ目鏡
焼出されの女郎屋、見世を張たく思へども、女郎
といへばたつた一人、如何はせんと思案し中、
友達來り、おれが宜い趣向がある、格すへ七ツ目
がねを張り、女郎だくさんに見せる工夫、なんと
今孔明であらうがといへば、草主手を打てよと
び、早々の日より取かゝり、早や見世開させし
に、客船宿ともなひ、かの謀計の格子をのぞき
、愛へあがらうと若者へのすみをいへば、金山
さんか支度と腰をかける、客のぞき居て、かつと
物しまひではな

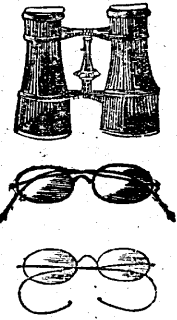
● 牛玉

隱居のくすね金粉失し、長屋中より合衣類もぬ
すむべきに、金ばかり盗みしは心得ぬとの疑ひは
れず、てんでの身ばらしに牛玉をとりよせ、大屋
さいをふつて吞せし處に、まな仕事師の太郎が居
ぬ、はやくよんでさい「モト太郎さん早く大屋
さんへ來て、牛玉をのみなさいと「アイお添けな
ふとさうやすが、今飯をたべました
● 水中の戀
經ふなの娘と通し、水中のたゞすみ成がたく、
言かばせし水の泡、いつそ死ぬるがましちやと
て、いれと戀とをからみ付け、潮ら船へひらり
とばねは

謹告

各地御花主様愈々御盛榮之段奉賀候隨テ弊店義日増ニ隆盛ニ趣キ候段偏ニ御
花主様之御引立ト奉深謝候儀テ從來各位御仕入ノ爲メ御出京御滞在中其旅館
へ商品ノ見本ヲ携帶シ店員ヲ差出シ居リ候處右ニテハ承知ノ通り數種ノ物
品ニテ到底充分ニ御撰定テ願ハレ兼候ト愚考仕リ候儀テ今回改良致シ拙
店內ニ商品ノ見本陳列場ヲ設置シ數百種ノ物品ヲ一見御撰定相
成リ易キ様御便利ニ出來仕リ居リ候間何卒出京ノ都度御繰合セテ尊來被
下下一覽ノ上願々御注文ノ程奉願候
尾張屋商店 店主敬白

各地御得意様御中



眼鏡類 製造販賣大擴張に就
諸君、近年は御老人のみに限らず壯年の御方でも御婦人
方でも皆々眼鏡をか掛になりす、即ち風が吹けば眼鏡
を以て往來の埃を除け雪が降れば色眼鏡を以て是が反射
を防ぎ或は學生諸君の讀書にも眼鏡を用ひて近眼を豫防
し或は近眼の人も適度の眼鏡に因て其自由を得るなど何
に就けても眼鏡の必要を感じて來たと云ふものは蓋し醫
學上の進歩に伴ひ世の人の目が大切なる事を知て參ら
れた結果と云はねばなりません、ソコで斯様に眼鏡の御
需用者が日に増加するを知りながら肝心な其供給者
たる眼鏡問屋は何處を風が吹かぬと云ふ所を以て居ら
れさせぬ多弊店は早くも茲に目を開け力及び販賣に從事し
大勉強大奮發を以て多年眼鏡類の製造及び販賣に従事し
て居ります處から幸ひ全國各御得意様方にお眼鏡にも叶
ひ眼鏡類は何でも製造元祖の尾張屋に限る殊に品物も業
次郎だどの御評判實に有難い事御坐ります依て其御禮
券に今度は益々業務擴張の爲め從來に幾層倍の輪をかけて
時々流行の眼鏡を始め彼の軍用、銃獵に必要な雙眼
鏡其他望遠鏡、顯微鏡等に至るまで品位も直段とも上中
下を取揃へて凹凸眼鏡はチヤンと度に適合し格ハズ
ト度外れと云ふやうに極く着實親切に御取引を致しま
すれば何卒此上ながら目に掛られ御引立の程を偏に願
ひ奉ります

販賣品課目
和洋眼鏡一式
兩眼鏡
望遠鏡
磁石寒暖計類
諸宗用珠數
硝子玉各種
目丁三町山橋市京東
尾張屋榮次郎

● 小僧 十三四才
七八名募集ス



狂歌

雨の足風の手振もなよやかに
くも井の曲を舞へる天人
空高くの布り夜舟も踊りけり
あそびに必有頂天人
羽衣の曲をよけれおのが名の
天人座ある琵琶を引には
足なみや手振を人も三保の浦に
松葉しをばをさる天人
三絃のつゝひ天女が墨染の
所作ははだへの雪の關の戸
天人の身の軽業も雲の上
笠ひちりさき鳴物にして
羽衣を隠されてより天人の
はだか踊もする三保の浦
雲の上にする俄の狂言も
落をなとりを天津乙女等
羽衣は松に掛聲いさししく
裸をどりもする天乙女
曲舞に有頂天女はしら雲の
なみ(ならぬ)腕をみせけり
楊貴妃の手振りをして天乙女
羽衣霓裳の曲や舞ふらむ
天人は笠ひちりさきの外にまた
ことに妙なる羽衣の曲

煉瓦の月
煉瓦屋は煙さひと早く寐て
衣かつぎたる季の名月
玉子なりする月影もさきやうで
四角にうつる煉瓦屋の月
力士踊出
場所を苦しつゝぬる夜は虫の音も
左りをさせとさく角力取

病中の兼書二二句を笑草までに
秋來ぬとしに散る秋樹一葉
今朝の秋知るや松よく風の音
かきさ荷の置どころなき虫の聲

二口はなし
動物の流行
葉見垣散人
僕は此の動物園を見物したさうかい上野のイ
ハニ淺草の花屋敷か「ハニ小動物商會の動物園

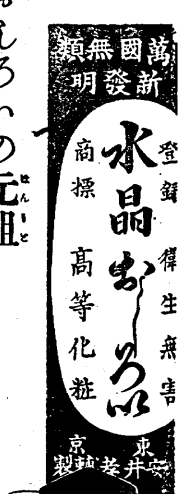
さ「ハニねんたな物が居た「イヤ中々盛んなもの
だ、先づ齒磨石の部に居るのが、獅子、鹿印、
象印、虎印、百猫、兎月、羊、風凰(金牌齒磨)
鷲(養生堂煉齒磨)人造麝香、鬼(大博士又香水の
部には麒麟、猫印、蛇印、鷲印、其外にはまだ、
ぬれ鳥、龜、など居るが是からもまだ追々
出るさうだ「なんだ夫ぢやア魔性のものぢやアな
いのだね「さうサ魔性のものではない皆な化粧の
物だ

●園遊し
水戸 猫轉弟釋男
オイ八公何處へ行くのだ「伊豫一誰かと思つたら
熊公か久しく阿波なかつたな「さうさ去年の下
野に逢た切つとも淡路だ「さうだ飛しよらだ
から出雲の所で一杯やらうか「豪氣に伊勢が宜い
なア着つて呉れる氣甲斐「ハニはんの能登を濡す
だけ一寸越後(二色)

●口上茶番人物鏡
其七 雁人
雁人と申しても、昔様の御存じの通り種々ござ
りますが其内の一人とつれて参りましたから、烏
渡津検査を願ひます(と景物に徳利と猪口を出
し)即ち是が景物のお品お信濃でござります、
併し其お品の風見(風味)を致して見ませうと(徳
利より猪口へ酒をつぎ飲んで見て)成ほど是は間
違ひのない新酒(信州)ものでござります、夫で信
州より参る雁人は、大概冬始めに参つて、寒か
け(朔明)には國へ歸ると云ひます、シテ見ると寒
を勤める(雁)を勤める(か)と存じます

其八百 姓
私は百姓と申す超でござりますから、百姓を修
羅に入れやうと、いろ(考へ)ました、別に名
題向も附きませんから、私の懇意な百姓の田畑
だけを修羅に入れます(と景物に手品箱の道具を
出して手品をして見せ)斯う手品を致して田畑と
は、どういふ譯かど皆様の修羅も修羅ませう
が、一休手術と申すは他人に知れぬやうに致す
、即ち一ツの傳授(田地)でござります(未完)

萬新 登録 衛生 無毒 類明 商標 高 等 化 粧
水 晶 水 晶 水 晶
透 明 お し ろ い の 元 祖
本品の外何れも偽物につき
追求の節注意願上候
發賣元 東京市京橋區山下町一番地 金 丹
特約店 東京市 小間物問屋各店
共口瓶入
新大 十三錢
極大 廿錢
別大 卅五錢
小瓶 四錢
中瓶 六錢
大瓶 八錢
定價
小瓶 四錢
大瓶 八錢
祖元いろしお煉
本舗 東京日本橋區
横山町二丁目
電話 混花
四十二番
東京小間物卸商組合中
脇田盛眞堂



リアニ處ル到國全ハ店捌賣大



商標
大 王
此月顔印はみがきハ本年三月ヲ
以テ發賣致候處未ダ日猶ホ淺シ
ト雖モ日増ニ繁榮ニ趣キ候段難
有奉謝候尙々不相變澤山修用向
之程伏而奉願上候敬白
艶 本
司 鋪
目丁二町馬傳小區橋本日京東
白 敬 郎 太 德 井 永

第五回 第四回 第三回 第二回 第一回
 勸業博覽會 國內全會紀念 國全會紀念 勸業博覽會 勸業博覽會
 博覽會 博覽會 博覽會 博覽會 博覽會
 舊等功 舊等功 舊等功 舊等功 舊等功
 狀狀牌 狀狀牌 狀狀牌 狀狀牌 狀狀牌

取所全國各處小物店業店小

品質純良價格低廉販賣高最多額

TRADE MARK
 THE DIAMOND
 AN EXCELLENT TOOTH POWDER.

標商錄登

類無 異世

齒磨 貴功

多々下

きのみ

改良一名

目丁 志町 喰馬 市京東
 製謹氏尾平

特約大販賣

- 日本橋區橋町四丁目 丸見屋善兵衛
- 同 通油町 村田 藤七
- 同 橫山町一丁目 近江屋源七
- 京橋區銀坐一丁目 佐々木立兵衛
- 日本橋區通鹽町 山田 篤三
- 同 馬喰町三丁目 武井 龍三
- 同 橫山町一丁目 柏屋 善藏
- 同 馬喰町一丁目 三河屋善兵衛
- 同 橫山町三丁目 三橋鬼喜次郎
- 同 橫山町一丁目 龜屋 忠兵衛

每月五日十五日廿五日三回發行每箱五圓一圓銀發行人 西 武